

BUDŌ

NEWS

今月のニュース



上位入賞選手

高松宮記念杯争奪

第 30 回全日本銃剣道選手権大会





少林寺拳法



弓道



空手道

特集

3年ぶりの武道館

令和4年度
全日本少年少女武道錬成大会

6000人の子どもたち集う



令和4年度全日本少年少女武道錬成大会が、7月17日の合気道を皮切りに、弓道（18日）、剣道（23・24日）、空手道（30日）、柔道（31日）、銃剣道（8月3日）、少林寺拳法（6日）、なぎなた（7日）の計8種目9日間、全国からおよそ6000名の参加を得て開催された。

東京五輪の柔道・空手競技などの開催で日本武道館が使用できず、3年ぶりの開催。大会当日は多くの種目で入れ替え制を実施するなど、コロナ対策を徹底しての開催となった。

酷暑の中、参加者たちは日頃の修練の成果を存分に披露し、仲間とともに基本、試合、演武に汗を流した。



柔道



剣道



合気道



銃剣道



なぎなた



ちかいのこば 合気道奥州道場
金田葉月（中学3年・右）、高橋璃空（中学1年）



大会名誉会長挨拶
植芝守央
合気会理事長



大会会長挨拶
山谷えり子
日本武道館常任理事

合気道

7月17日
108団体・1255名参加
（うち11団体・141名欠席）

大会は、参加者を3班に分けて、時間をずらして行った。開会式では、最初の班の参加者を前に、山谷えり子日本武道館常任理事と植芝守央合気会理事長が挨拶した。錬成は班ごとに同じ内容を実施し、稽古錬成は本部道場指導部師範が座技正面打ち一教・立技正面打ち入身投げ・立技正面打ち小手返しなどを指導。続いて各団体による演武錬成、最後は植芝充央本部道場長が模範演武を行って各班の錬成を締めくくった。演武錬成では、2分という限られた時間の中で、子どもたちは日頃の稽古の成果を披露した。



模範演武（植芝充央合気道本部道場長）





ちかいのことば
鎌田祥徳（埼玉県・星野学園中学校弓道部3年）



大会名誉会長挨拶
増田規一郎
全日本弓道連盟会長



大会会長挨拶
塩谷 立
日本武道館常任理事



7月18日
75団体・754名参加
（うち6団体・66名欠席）

大会は例年と変わらない内容で行われ、開会式では、塩谷立日本武道館常任理事と増田規一郎全日本弓道連盟会長が挨拶。基本錬成に移り、準備体操に続いて、磯部孝教士七段の指導の下、参加者は大道場いっぱいに広がって徒手八節を行った。全日本選手権者男女4名による特別演武を見取り稽古し、続く試合錬成では、予選（男女とも1チーム3名で各4射の計12射）を行い、6中以上のチームが予選を通過し、決勝は的中数により競われた。試合が進むにつれて場内は熱気を帯び、観客席からも歓声があがった。



特別演武
（左から鹿野伸一教士七段、齋藤往子教士七段）





模範稽古：筑波大学剣道部



大会名誉会長挨拶
(23・24日) 網代忠宏
全日本剣道連盟会長



大会会長挨拶 (24日)
江渡聡徳
日本武道館常任理事



大会会長挨拶 (23日)
臼井日出男
日本武道館理事長



7月23・24日
331団体・1966名参加
(うち91団体・494名欠席)

各日2部制で開催。1部の開会式では、23日は臼井日出男日本武道館理事長と網代忠宏全日本剣道連盟会長が、24日は江渡聡徳日本武道館常任理事と網代会長が挨拶した。次に第68回全日本選手権者の松崎賢士郎氏による講話が行われ、松崎氏は自身の経験から得た剣道の考えやあり方を子どもたちに伝えた。続いて香田郡秀範士八段が指揮・解説し、筑波大学剣道部による模範稽古が行われた。最後は松崎氏の指揮の下、模範稽古に準じた基本稽古が行われ、参加者は限られた時間の中で精いっぱい汗を流した。



講話 松崎賢士郎氏





ちかいのことば（第1部）
伊藤涼空（栃木県・清原空手道スポーツクラブ）



大会名誉会長挨拶
笹川 堯
全日本空手道連盟会長



大会会長挨拶
森 英介
日本武道館常任理事

空手道

7月30日

113団体・1063名参加

（うち18団体・204名欠席）

開会式（第1部）では、森英介日本武道館常任理事、笹川堯全日本空手道連盟会長が挨拶。模範演武では埼玉栄高校空手道部による団体形が披露された。続く基本錬成では基本の突き、蹴りを精いっぱい行った。試合錬成はチーム3人制の団体形を小学生3部門、中学生2部門の計5部門で実施し、各ブロック上位8チームが決勝トーナメントに進み組手を行った。参加者たちは一つ一つの競技に真剣に向き合い、持てる力を出し切った。



ちかいのことば（第2部）
和田柚瑠（東京都・蒼鷹会空手道教室）



模範演武・埼玉栄高校空手道部 団体形「アーナン」
（左から）井上晴喜、中澤昇龍、小林龍生





ちかいのことば・午前の部
柴田麻帆（愛知県・羽田野道場）



ちかいのことば・午後の部
金子千曉（石川県・犀川柔道教室）



大会名誉会長挨拶
野瀬清喜
全日本柔道連盟副会長



大会会長挨拶
高村正彦
日本武道館会長



7月31日
75団体・529名参加
(うち27団体・182名欠席)

午前・午後の2部制で開催した。午前の部で行われた開会式では、高村正彦日本武道館会長と野瀬清喜全日本柔道連盟副会長が挨拶。基本錬成に移り、日本スポーツ協会の吉田繁敬氏による準備運動・実践運動が行われ、同協会のアクティブ・チャイルド・プログラムに沿った運動遊びで参加者は楽しく汗を流した。続いて全柔連強化委員会女子コーチの池田ひとみ氏による講話、全柔連強化選手による模範演武・技の解説と実技指導が行われた。実技指導では参加者は大道場いっばいに広がり互いに技を掛け合った。



講話
池田ひとみ氏



模範演武で洗練された内股を見せる
内村秀資選手（上）



ちかいのことば
谷 武蔵(北海道・名寄ピヤシリ銃剣道スポーツ少年団)



大会名誉会長挨拶
番匠 幸一郎
全日本銃剣道連盟会長



大会会長挨拶
臼井 日出男
日本武道館理事長

銃 剣 道

8月3日
36団体・169名参加
(うち6団体・31名欠席)

開会式では臼井日出男日本武道館理事長と番匠幸一郎全日本銃剣道連盟会長が挨拶を行った。

開会式後の特別演武では、「銃剣道基本・応用技」が披露された。続いて合同錬成が行われ、佐藤亨範士八段の号令のもと、子どもたちは元気に銃剣道、短剣道の基本動作を行った。

試合錬成では、銃剣道と短剣道の個人戦ならびに銃剣道の団体戦が行われた。選手たちは日頃の稽古の成果を発揮し、熱戦を繰り広げた。



特別演武
小倉弘之教士七段(右)と竹内巨樹錬士六段





来賓祝辞
角田喜彦
スポーツ庁次長



大会名誉会長挨拶
宗 昂馬
少林寺拳法連盟会長



大会会長挨拶
高村正彦
日本武道館会長

少林寺拳法

8月6日
146 団体・829 名参加
(うち 27 団体・188 名欠席)

今年は「^{りきあい ふ に}力愛不二～自分を信じて～」を大会テーマに開催。開会式では、高村正彦日本武道館会長と宗昂馬少林寺拳法連盟会長が挨拶を述べた。また角田喜彦スポーツ庁次長が祝辞を述べた。

開会式終了後の基本錬成では、川島佑斗正拳士五段の指導のもと、拳士たちは突き、蹴り、受け、そして天地拳第一系、龍王拳第一系を行った。

演武錬成では段、級、学年ごとに組演武、単独演武、団体演武を行った。子どもたちは真剣な眼差しで精いっぱい技を繰り出した。



鎮魂行主座
川島佑斗（正拳士五段）





ちかいのことば
末松奈々（さくら弥富なぎなたクラブ・中学2年）



大会名誉会長挨拶
佐藤浩市
全日本なぎなた連盟会長



大会会長挨拶
山谷えり子
日本武道館常任理事

なぎなた

8月7日
112団体・744名参加
(うち11団体・53名欠席)

開会式では、山谷えり子日本武道館常任理事と佐藤浩市全日本なぎなた連盟会長が挨拶した。

続く基本錬成では、参加者が大道場全体に広がり、指導者の号令に合わせ、素振りと体捌きを行った。競技では、学年ごとの演技競技（小・中学生各4部門）と試合競技（小・中学生合計10部門）を実施した。参加者たちは精いっぱい力を出し切り、最後は互いの健闘を称えつつ、3年ぶりに開催された少年少女武道錬成大会最終日を締め括った。



高松宮記念杯争奪 第30回全日本銃剣道選手権大会

藤原考貴 (栃木) が 5年ぶり2度目の優勝



銃剣道の日本一を決める高松宮記念杯争奪第30回全日本銃剣道選手権大会（主催Ⅱ全日本銃剣道連盟）が8月5日、日本武道館で開催され、決勝で藤原考貴（栃木）が佐藤岳（静岡）を上胴で破り、史上3人目となる2回目の優勝を果たした。

大会は新型コロナウイルスの影響で第28・29回大会が中止となり、今回は3年ぶりの開催。エントリーした58名のうち4名が欠場したため、各地の予選を勝ち抜いた52名に第27回大会の入賞者2名を加えた計54名で覇を争った。



決勝で鋭い上脰を決める藤原(右)

試合はトーナメント方式で行われた。1試合5分(3本勝負)で、時間内に決着しない場合は時間無制限の延長戦で勝敗を争った。

1／3回戦

第1ブロックでは、初出場の平田悠朗(大阪)が3回戦で同じく初出場の竹井広次(宮崎)と対決。試合は平田が上胴を決め、残り時間を守り切って勝利。優勝大会で上位入賞を果たしている岩永健太(長崎)は2回戦で第26回大会の覇者、菅野孝(福島)に対し上胴を決めて勝利す



3回戦で2本目の上胴を決める藤原(左)

ると、続く3回戦でも2本勝を収めて準々決勝へ。

第2ブロックでは、藤原考貴がシードにより2回戦から登場。2・3回戦ともに2本勝と安定した力で駒を進めた。菅野純一(香川)は3回戦で前回大会3位の仁尾正樹(東京)と対決。延長の末、菅野がコテを決めて勝利し、準々決勝へ進んだ。

第3ブロックでは、本大会最年長48歳の長谷川英昭(茨城)が1・2回戦を2本勝、3回戦では上胴を決めて準々決勝へ駒を進めた。

4月の全日本銃剣道優勝大会の防衛省第一部でチーム優勝に貢献した佐藤岳(静岡)は1回戦はシード、2回戦では2本勝、3回戦では上胴で勝利した。

第4ブロックでは、初出場の池田侑弥が3回戦で藤村太郎(神奈川)を上胴の一本勝で降した。選手権大会で上位入賞を果たした経験のある松野和樹(石川)は3回戦で前回大会の王者・園田泰之(長崎)と対戦。園田が上胴で先取するも松野がノドを決めて五分に。そして開始から1分44秒、松野が園田に再びノドを決めて、準決勝へ勝ち上がった。

準々決勝

岩永健太 下ー 平田悠朗

開始から両者一步も引かない展開。そして開始1分50秒、岩永が仕掛ける。接近した状態から間合いをとった次の瞬間、素早く下胴に飛び込んで一本を先取。何とか取り返したい平田は前に出るも岩永が上手く捌き、そのまま試合終了。岩永が準決勝へ勝ち上がった。



準々決勝①＝岩永(左)が下胴を決める

藤原考貴 上ー 菅野純一

タイミングが合わずなかなか攻めきれない両者。本戦終盤に藤原が上胴に飛び込むも、菅野が躲して一本にならず、そのまま延長へ。

試合が動いたのは開始7分25秒過ぎ。藤原が基本の間合い(一歩前に踏み出すと相手に木銃が届く距離)から上胴を突いて一本。藤原が準決勝へ駒を進めた。



準々決勝②＝藤原(左)が上胴を突く

佐藤岳 下ノー 長谷川英昭

隙を見て攻撃を仕掛ける佐藤と上手く剣を捌き冷静な試合運びをする長谷川。開始3分50秒過ぎ、佐藤が前に出ると長谷川はこれを防ごうと木銃を上げる。佐藤はその隙を狙って下胴を突き、一本を先取。長谷川も猛攻に出るが、佐藤はこれを上手く捌く。そして4分24秒、近間から佐藤が力強い掛け声とともにノドを突いて2本目を奪い、準決勝へ勝ち進んだ。

池田侑弥 上ー 松野和樹

木銃を上下に動かし隙を狙って攻撃する松野と、冷静に動きを見極めようとする池田。両者、有効打突は見られず試合終盤へ。
4分30秒、池田が一気に上胴を突き、旗が3本上がる。そのまま試合終了の合図が鳴り、池田が準決勝進出を決めた。



準々決勝③=佐藤（左）が2本目となるノドを決める



準々決勝④=池田（左）が上胴を決めて松野を降す

ベスト8進出者の声

▽平田悠朗選手（大阪）

「初出場でここまで勝ち上がったことはとても嬉しいですね。1試合目から自分の力を出しきれたと思います。悔いはないです。」

今回は上位入賞してメダルがもらえるように一生懸命頑張りたいと思います」

▽菅野純一選手（香川）

「この大会を現役最後の大会にしようと思って挑みました。もう少し上にいきたいと思っていたので残念です。」

大会に向けて、コロナ対策をしっかりと取りながら練習ができていました。他の部隊からも応援していただいたので期待にこたえなかったです。

今後は面を取って後輩の育成をしっかりやっていきたいと思っています」

▽長谷川英昭選手（茨城）

「今大会の最年長出場になるので、自分なりにできたのかなと思います。若い人たちに負けなように気合いを入れて試合に挑みました。この年齢だったにもかかわらず、ベスト8という結果を残せて満足です。」

可能であれば本大会の最年長記録の更新までいけるか分かりませんが、また出場できたらと思っています」

▽松野和樹選手（石川）

「（結果については）ただただ悔しいです。この大会に向けて仲間もしっかりサポートしてくれたので今日まで練習をしっかりと積むことができたと思います。」

今後は一から見直して仲間と一緒に練習し、また一段と強くなれたらいいと思います」



準決勝①＝藤原（左）が終盤に上胴を決める



準決勝②＝佐藤（左）が2本目の上胴を決めて決勝へ

準決勝

藤原考貴 上ー 岩永健太

序盤に、前に出た岩永は、鋭い突きを何度も繰り出し藤原を牽制する。藤原もその攻撃を力強く封じ、一本を取らせない。中盤に差し掛かると藤原が徐々に手数を増やす。しかし、岩永もこれを適切に捌いて有効打突を与えない。

終盤に差し掛かった4分10秒過ぎ、藤原がフエイントをかけたつじりじりと岩永に詰め寄った次の瞬間、岩永の手元が緩んだ隙に素早く上胴を決めて一本。そのまま試合は終了となり、藤原が3年ぶりの決勝へ。

佐藤岳 上ー下 池田侑祐

「はじめ」の合図直後、佐藤が鋭く上胴を突き先取。しかしその後、池田も負けじと攻め立て、佐藤の手元が上がったところに下胴を決め、勝負は五分に戻る。

開始1分30秒過ぎには激しい打突の攻防となるも両者一本を奪えない。試合が決着したのは1分55秒、基本の間合いから攻撃のタイミング



決勝＝延長の末に藤原（右）が会心の上臈を決める

を図った佐藤が勢いよく上臈に飛び込んで二本勝。初の決勝へ駒を進めた。

決勝

藤原考責 上ー 佐藤岳

第25回大会のチャンピオンでここまで一本も取られずに勝ち上がってきた藤原と、全日本優勝大会に続けたの優勝を目指す佐藤の一戦。

序盤から両者は基本の間合いから接近する動きを繰り返し、出方を図る。中盤に藤原の木銃の先が佐藤の面に当たってしまい試合が一時中断するも、負けられない両者はその後も激しい攻防戦を繰り広げる。そのまま本戦が終了し、勝敗の行方は延長戦へ。

そして、開始6分50秒過ぎ、決着の時が訪れる。両者基本の間合いになったところから藤原が力強く上臈へ飛び込んだ。佐藤もこれに反応し、躲そうとするも防ぎきれず、藤原に旗が3本上がった。藤原が5年ぶりの王座に輝き、場内からは盛大な拍手が送られた。

優勝者インタビュー

悔しさを乗り越え、2度目の栄冠

■優勝Ⅱ藤原考貴選手(栃木)



いですね(笑)。これから湧いてくるのかなと思います」

本大会では初戦から相手に一本も与えずに安定して勝ち上がった。序盤からの対戦を振り返ってもらった。

「今回は優勝でしたが、3年前の大会では1回戦敗退という結果でした。それが非常に悔しくて今回こそは上位に入りたいという気持ちで大会に挑みました」

「今回は優勝でしたが、3年前の大会では1回戦敗退という結果でした。それが非常に悔しくて今回こそは上位に入りたいという気持ちで大会に挑みました」

前回優勝した際のインタビューでは優勝の実感が全くないと語っていたが、今回は。

「今回も正直、優勝の実感はない」

決勝の相手は強豪チーム・普通科教導連隊所属の佐藤選手。決勝戦に挑む際はどのような心境だったのだろうか。

「佐藤選手とは練習試合で戦ったこ

とがありますが、勝率は五分だったので正直、自信はありませんでした。佐藤選手は剣の力も強く、多彩な攻め技を持っています。決勝ではその部分に気圧されないようにすることと、自分から攻めていくことを心掛けました。最後は何とか気持ちを切らさずに戦いました」

すがすがしさは5年前と変わらず、さらに力強さを身につけた藤原選手。最後に今後の目標を聞いた。

「今年は10月に栃木国体が開催されるので、今回の成績に恥じない試合をし、現在の赴任先である栃木県に貢献したいと思います」



前回大会の悔しさをバネに開催延期となった2年間でさらなる強さを手にした藤原選手に、今年10月の栃木国体を含め今後の活躍に期待がかかる。

○準優勝Ⅱ佐藤岳選手(静岡)



「3年ぶりの開催ということで1・2回戦は緊張して体が硬くなり、自分らしい試合ができなかったのですが、3回戦以降は足を使った思い通りの銃剣道ができました」

決勝では(藤原選手と)ぶつかった際に手の感覚がなくなっていました。集中が切れてしまいました。終盤ではその時の痛みで相手の剣に反応できず後悔していますが、来年に繋がる試合になったと思います。4月の全日本銃剣道優勝大会に続いて優勝したいと思っていましたが、負けてしまったので来年こそは優勝を狙って精進していきたいと思っています」

(今後の目標は)栃木国体でリベンジし、優勝したいと思っています。そこから来年の優勝大会や本大会の優勝を目指していきたいです」

第30回 全日本銃剣道選手権大会

称号 段位	出場 回数	氏 名	都道府県	称号 段位	出場 回数	氏 名	都道府県
錬六 初	鈴木 孝信	(静 岡)	0	教八 5	長谷川英昭	(茨 城)	2
錬六 初	竹井 広次	(宮 崎)	1	錬六 初	井下 佑也	(鹿 児 島)	0
錬六 初	中沢 元貴	(群 馬)	0	教七 4	小野 雄大	(宮 城)	1
錬六 初	川村 信司	(秋 田)	2	錬六 初	石脇 慎也	(三 重)	0
錬六 初	平田 悠朗	(大 阪)	2	錬六 初	市川 圭	(北 海 道)	0
錬六 初	青木 良平	(山 口)	1	教七 7	竹村 和剛	(愛 媛)	2
錬六 初	増本 竜次	(北 海 道)	2	教七 5	中谷 和彦	(山 口)	0
教七 4	河合 大地	(佐 賀)	0	錬七 2	山崎 泰弘	(東 京)	2
錬六 初	西田 寛樹	(高 知)	0	錬六 初	笠原 悠	(新 潟)	1
教七 初	岩永 健太	(長 崎)	1	教七 初	門脇 克未	(島 根)	0
教七 7	菅野 学	(福 島)	1	錬六 初	小野 将博	(秋 田)	不
錬六 初	坂田 雅佳	(北 海 道)	0	錬六 初	井上 聖太	(京 都)	不
錬六 初	武藤 友則	(長 野)	1	錬六 初	高濱 雄太	(長 崎)	1
錬六 2	矢島 大介	(愛 知)	2	錬六 4	佐藤 岳	(静 岡)	2
錬六 4	丸山 辰也	(山 梨)	0	錬六 2	藤村 太郎	(神 奈 川)	1
錬六 3	福岡 由晃	(三 重)	1	教七 5	秋元 陽樹	(福 島)	0
錬六 初	遠藤 彰徳	(岩 手)	0	錬六 2	山崎 隼人	(山 口)	0
錬六 初	佐々木 聡	(神 奈 川)	不	錬六 3	外山 欽一	(宮 崎)	1
錬六 3	山口 公仁	(北 海 道)	0	錬六 初	名和 遼	(北 海 道)	0
錬六 初	坂口 修平	(鳥 取)	2	錬六 初	田嶋 啓一	(香 川)	2
錬七 10	廣瀬 敬久	(富 山)	0	錬六 初	池田 侑弥	(福 岡)	1
教七 5	藤原 考貴	(栃 木)	2	錬六 初	石本 寛貴	(滋 賀)	0
錬六 3	大久保就矢	(沖 縄)	0	錬六 4	池戸 淳	(岐 阜)	0
教七 2	菅野 純一	(香 川)	2	錬六 初	鈴木 康彦	(千 葉)	1
錬六 初	赤平 翔太	(山 形)	0	教七 5	松野 和樹	(石 川)	1
錬七 初	今野 真也	(愛 知)	1	錬六 初	秋村 啓介	(青 森)	0
錬六 初	川越 鉄也	(広 島)	0	教七 4	蘭田 泰之	(長 崎)	1
錬六 初	宮本 翔	(熊 本)	1	教七 2	徳田 裕人	(岡 山)	0
錬六 2	仁尾 正樹	(東 京)	1	錬六 初	御園 翔	(埼 玉)	0

※欠場者4名を含む

優勝
藤原 考貴

準優勝
第3位
池田 岩永 佐藤 侑弥 健太 岳

▽3位Ⅱ岩永健太選手(長崎)



「悔しい思
いがありま
すね。初戦
から緊張し
ながらも何

とか勝ち上がることができていま
した。大会前にはしっかりとモチベ
ーションを保ちながら練習できて
いました。準決勝では足が動かなか
ったことが敗因だと思います。来年
こそは優勝できるように頑張りたい
です」

▽3位Ⅱ池田侑弥選手(福岡)



「入賞でき
たことは嬉
しいのです
が、やっぱ
り悔しい気

持ちもあります。最初は緊張して動
きが硬かったのですが、試合をする
につれて自分らしい試合ができた
ので良かったと思います。準決勝は
あと一步というところで取られて
しまったので自分の実力不足だと思
います。国体では、勤務先の県に
貢献できるように頑張ります」



青年第1部決勝・先鋒戦＝40 普連 A・江崎（左）がコテを決める

第53回全日本青年銃剣道大会

団体戦
青年第1部

40 普連 A (福岡) が 7年ぶり5度目の優勝

第53回全日本青年銃剣道大会（主催Ⅱ全日本銃剣道連盟）が8月4日に日本武道館で開催された。

今大会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で3年ぶりの開催。試合は団体戦（3人制）の青年第1部（本年度24～26歳）と同第2部（23歳まで）、女子個人戦（高校生以上）の3部門で競われた。

青年第1部は第40普通科連隊A（福岡）が7年ぶり5度目の優勝。第2部は第3即応機動連隊（北海道）、女子個人戦は竹内麻弥（第33普通科連隊）がともに初優勝を飾った。

■団体戦

試合はトーナメント制で争われ、時間は3分（3本勝負）。時間内に決着しない場合は旗判定で勝敗を決し、勝者の多いチームを勝ちとした。

▽青年第1部（77チーム）

決勝には、第46回大会優勝の40普通連A（福岡）と上位常連の第16普通科連隊A（長崎）が駒を進めた。



青年第1部決勝・中堅戦＝40 普連 A・久松（左）が上胴を攻める

先鋒戦は40 普連 A・江崎裕耶と16 普連・酒田潤の顔合わせ。試合は江崎が酒田の腕が一瞬上ったところに素早くコテを突いて一本を先取した。試合はそのまま終了し、40 普連がリードする。

中堅戦は40 普連 A・久松龍孔と16 普連 A・藤川凌太の対決。終始突きを繰り出す久松と冷静に捌きつつも攻撃の機会をうかがう藤川。両者一歩も譲らないまま試合は終了し、勝

敗は旗判定へ。その結果、久松に2 本上がり、この時点で40 普連 A の7 年ぶりの優勝が決まった。

大將戦は16 普連 A・村上大樹が上胴で一本を先制するも40 普連 A・平山虎太郎が上胴を返し、同点のまま判定へ。判定は、果敢に攻め続けた村上に旗が3 本上がり、16 普連 A が一矢報いた。

◎優勝Ⅱ40 普連 A・嶋津良光監督

「1 回戦から厳しい試合もありましたが、選手たちが自分らしく戦ってくれて勝ち上がることができたと思います。練習は厳しい環境でしたが、日々訓練をすることができていました。今回の大会の開催を含め、支えていただいた周囲の方々に深く感謝しています」

▽青年第2部（103 チーム）

決勝は、初優勝を狙う3 即機（北海道）と過去に一般青年の部で優勝に輝いた防衛大学校 A（神奈川）の対決となった。

先鋒戦は3 即機・畑田龍佑と防衛大 A・山本恵一郎の対戦。試合は畑田が開始の合図と同時に下胴を決めて一本先取するも、山本が終盤に下



青年第2部決勝・先鋒戦＝3 即機・畑田（左）が下胴を決める



青年第2部決勝・中堅戦＝3即機・寒河江（左）が上胴を決める

胴を決めて取り返す。そのまま時間切れとなり、判定により畑田に旗が2本上がり、3即機がリードする展開に。

中堅戦は3即機・寒河江優斗と防衛大A・北出晃弥の一戦。試合は寒河江が開始約40秒で上胴を決める。勢いに乗った寒河江は試合再開の合図と同時に2本目の上胴を決め、勝利を収める。この時点で3即機の優勝が決した。

大将戦は防衛大A・久下博生が3即機・白川蓮太に上胴を2本決めて

1勝。防衛大Aが一太刀浴びせる形で決勝が終了した。

◎優勝Ⅱ3即機・坂田雅佳監督

「この大会で初めて監督を務めました。今回の優勝は選手たちのおかげだと思っています。優勝できて非常に嬉しいですね。大会に向けてしっかりと練習できたため、優勝に繋がったと感じています」

■女子個人戦（93名）

決勝は、初優勝を狙う竹内麻弥と前回大会優勝の寒河江瑞希（第3即機動連隊）の対決となった。

竹内は試合開始の合図と同時に勢いよく下胴に飛び込んで一本先取。さらに竹内は再開の合図と同時に素早く下胴を決めて勝利。試合時間わずか約5秒という電光石火の早業で竹内が初優勝をさらった。

◎優勝Ⅱ竹内麻弥（第33普通科連隊）

「優勝できて嬉しいです。1回戦から未知数な相手が多かったので、練習の成果を出せるように全力で挑もうと決めていました。目標は今後の大会で優勝を目指すと同時に、後輩の育成にも取り組んでいきます」



女子個人戦決勝＝竹内（左）が2本目の下胴を決めて勝利



青年第2部優勝＝第3 即応機動連隊



青年第1部優勝＝第40 普通科連隊 A



女子の部優勝＝竹内麻弥

- 大会結果
- ▼青年第1部
 - 優勝Ⅱ第40 普通科連隊 A (福岡)
 - 準優勝Ⅱ第16 普通科連隊 (長崎)
 - 第3位Ⅱ第35 普通科連隊 (愛知)
 - 第12 普通科連隊 (鹿児島)
 - ▼青年第2部
 - 優勝Ⅱ第3 即応機動連隊 (北海道)
 - 準優勝Ⅱ防衛大学校 A (神奈川)
 - 第3位Ⅱ第40 普通科連隊 (福岡)
 - 第42 即応機動連隊 (熊本)
 - ▼女子の部
 - 優勝Ⅱ竹内麻弥 (第33 普通科連隊)
 - 準優勝Ⅱ寒河江瑞希 (第3 即応機動連隊)
 - 第3位Ⅱ森川友紀子 (普通科教導連隊)
 - 今澤美紗貴 (普通科教導連隊)

日本武道館の単行本



剣道の文化誌 明治大学教授 長尾 進 著
四六判・上製・480項・定価2,640円

本書では剣道の持つ文化としての多様な面を、時代を追いつながら、わかりやすく紹介する。剣道を愛好する方には剣道を改めて見直すきっかけとして、剣道をあまりご存知ない方には剣道という日本文化の成り立ちを知るガイドとして、ぜひ一読を。



剣道 その歴史と技法 埼玉大学名誉教授 大保木輝雄 著
四六判・上製・516項・定価2,640円

本書は戦国末期から江戸時代初期を起点に、今日に至るまでの剣道の歴史的發展の経緯を示した。戦国期以前の剣術の有り様を認識した上で改めて各時代の流れに沿った剣道史を考えてみたいという筆者の思いを実現すべく、連載終了後5年のときを経てついに単行本化。



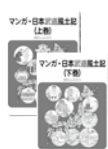
合気道 その歴史と技法 合気道道主 植芝守央 著
四六判・上製・362項・定価2,640円

世界140の国と地域、国内2,400の道場・団体で愛好される合気道。開祖・植芝盛平翁の生涯、植芝吉祥丸二代道主による普及・振興、さらなる発展に繋げた現道主による取り組み。その歴史の中で培われ伝え続けてこられた合気道の理念、それを体現する稽古法、基本的な技法の解説……合気道の全てを網羅した決定版。



空手道 その歴史と技法 小山正辰・和田光二・嘉手苺徹 著
四六判・上製・548項・定価2,640円

空手は沖縄で発祥し、日本本土に伝承され、今や世界のKARATEとなった。その歴史と技法を、那覇系剛柔流の小山正辰氏、首里系松濤館の和田光二氏、沖縄空手研究の第一人者である嘉手苺氏の共同執筆で重層的に紐解く。嘉手苺氏が発見した剛柔流の開祖・宮城長順の最新の事実、小山・和田の両世界チャンピオンのエピソードなども満載。空手の真髄に迫る白眉の一作。



マンガ・日本武道風土記 漫画家・別府大学客員教授 田代しんたろう 著
B5判・248項・定価1,100円

全国の「武道ゆかりの地」を実際に訪ねて、ペンとスケッチブックを片手に徹底取材。地元関係者や施設の学芸員とのやりとり、その土地の成り立ちをわかりやすくマンガで紹介。多数の資料をもとに丹念に描いた当時の風景も魅力の一つ。マンガの世界で日本各地をめぐってみては。



死ぬまで弓道 弓道教士七段 小牧佳世 著
四六判・上製・342頁・定価2,640円

競技中に急性大動脈解離に倒れた筆者は奇跡的な生還を果たす。その8カ月後に弓道を再開し、わずか2年後に皇后盃で十射皆中、優勝を果たした。本書では激動の自伝を記し、弓のあり方や「早気」など弓道家の誰もが陥る課題などを模索する。死の淵を覗き、現在も全生全霊で弓を引き続ける筆者だからこそ記せた弓道伝記かつエッセイ



学校武道の歴史を辿る 筑波大学名誉教授 藤堂良明 著
四六判・上製・354項・定価2,640円

明治維新を迎え、武術は衰退したが、近代化の過程で武道が「人間形成の道」として学校制度の中に組み込まれ、発展した。太平洋戦争後に武道は全面禁止となるが、それを乗り越え、「格技」として復活。平成24年度には「中学校武道必修化」が実現した。学校武道の歴史を丹念に辿り、今後のあり方を探る。

ご注文・お問い合わせ

(公財)日本武道館 月刊「武道」編集部
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158
<https://www.nipponbudokan.or.jp>

第1回全日本空手道団体形選手権大会



関東地区A「ゴジュウシホショウ」の「分解」演武

団体形の初代日本一が決定！

男子は関東地区A 女子は近畿地区A

(梅山晟也、梅山竣也、本島照英)

(古瀬智菜、高嶋弥世、古河蒼波、松宮千夏海)

空手道で初の「団体形日本一」を決める第1回全日本空手道団体形選手権大会は7月22日、ホテルメルパルク東京(東京都港区)で決勝と3位決定戦が行われ、男子は関東地区A(梅山晟也、梅山竣也、本島照英)、女子は近畿地区A(古瀬智菜、高嶋弥世、古河蒼波、松宮千夏海)がそれぞれ優勝し、初代団体形チャンピオンに輝いた。

大会には地区協議会・高体連・実業団から推薦された男女各16チームが出場。6月18・19日に日本空手道会館で予選が行われ、決勝進出2チーム、3位決定戦進出2チームを決定した。決勝と3位決定戦は、制限時間5分間の中で一チーム3名が揃って行う「形」の演武と、形の各動作が持つ攻防の意味を表現した「分解」の演武を行い、技の正確さや極め、一致性などの観点(テクニカルポイントTECH)と、力強さやスピード、バランスの観点(アスレティックポイントATH)から、7名の審判員が評価する点数判定(30点満点)で勝敗が争われた。

この大会は開催方法でも新たな試みが入り入れた。決勝はコンサートや演劇で利用されるイベントホールを会場に、午後6時に大会がスタート。試合場を本物の竹や照明で囲み、光と音楽、映像で大会の盛り上げを演出した。会場は1500名の観客で埋まり、選手たちの迫真の演武に大きな拍手が送られた。

団体形の競技は世界選手権や高校・大学の大会などで実施されているが、全日本クラスの大会ではこれまでなかった。東京オリンピックで空手道が採用されたことを受け、全日本空手道連盟は本年度、空手道の価値を高める取り組みの一つとして、全日本の体重別選手権と共に本大会を新設した。



男子優勝・関東地区A「ゴジュウシホショウ」の「形」演武

男子決勝

決勝はともに関東地区のAチームとBチームが対戦した。

先に登場した関東地区Aは梅山晟也（警視庁）、梅山竣也（神奈川県警）の兄弟と、同じ群馬県出身の本島照英（国士舘大）による社会人・大学生の混成チーム。3人は松濤館流の「ゴジュウシホショウ」でダイナミックさを表現した演武を行い、息の合った形に続けて、力強さとスピード感溢れる分解を披露した。

男子優勝 関東地区A

梅山竣也選手

「念願の日本一。兄弟と、地元で小さい頃から一緒にやってきた本島の3人で達成できてうれしい。支えてくれた家族や職場の方々、監督に感謝の気持ちを伝えたい」

梅山晟也選手

「高校生の頃から待ち望んでいた団体形の大会。第1回大会で優勝できてうれしい。練習量に不安もあったが、高校生には負けていられないと迫力で押し切った。群馬から関東代表を背負って、優勝だけを目標して3人でやってきた」

本島照英選手

「優勝を狙うという覚悟があったからこそ、厳しい練習環境でも気持ちで乗り越えられた。この優勝を次の大会につなげていきたい」

男子2位・関東地区B「アーナン」



対する関東地区Bは、埼玉栄高校

空手道部所属の井上晴喜、中澤昇龍、小林龍生による高校生チーム。

気合いの入った発声で若さいっぱい「アーナン」の演武を行い、タイミングの揃った形と、スピードとキレのある分解を演じた。

結果は、関東地区Aが26・12の高得点を挙げ、埼玉栄高校チーム（24・94）に1ポイント以上の差を付けて圧倒し、日本一の栄冠を手にした。

男子2位 関東地区B

井上晴喜選手

「めったに立てない大きな舞台、良い経験になった。気持ち良く形が打てた」

小林龍生選手

「予選のアーナンよりも良かった。分解も気合いが入った演武ができた」

中澤昇龍選手

「第1回で決勝の舞台に立てたのは良い経験。これからに生かしていきたい」

山本大希選手

「決勝は出場した3人とも素晴らしい形を打っていた。成績は2位だが良い結果だと思う」





女子優勝・近畿地区A「アーナン」

■女子決勝

決勝は高校大会での^{しのぎ}鎗を削る、ともに近畿地区の高校生チームが対戦。

先に演武したBチームは浪速^{なにわ}高校空手道部。ジュニア日本代表の実力者でもある福岡夢心、神寄美桜、清水彩瑚の3人は、息の合った「アーナン」を演武した。

後攻のAチームは大阪学芸高校空手道部で、今年4月の高校選抜の優勝校。古瀬智菜、高嶋弥世、古河蒼波が「アーナン」で一糸乱れぬ形と、ダイナミックな分解を披露した。

近畿地区Aが26・00と、同Bを0・38ポイント差で退けて優勝した。

▽女子優勝 近畿地区A

古瀬智菜選手

「優勝できてうれしい。今後の課題も見えた。課題を改善できるよ。これからも張っていききたい」

高嶋弥世選手

「結果は良かったが、試合の内容はあまり良くなかった。次は改善できるよう頑張りたい」

古河蒼波選手

「第1回大会で優勝できてうれしい。見つかった課題を改善し、また優勝できるよう頑張りたい」

松宮千夏海選手

「3人を一番近くでサポートしてきた。良かった。優勝おめでとう」

▷女子2位 近畿地区B

神寄美桜選手

「満足いく形を打てたので、結果は悔しいけど、後悔はない」

清水彩瑚選手

「力を出し切って最後までやり遂げられた。良かった」

福岡夢心選手

「練習したことをすべて披露できた。次に向けて頑張る」

森璃音選手

「格好いい3人を見て自分も次に向けて頑張ろうと思った」

女子2位・近畿地区B「アーナン」



3位決定戦

男子

劉衛流龍鳳会の九州地区A（池田竜晟、島田辰夫、高良蒼空）が26・06点の高得点で、大阪学芸高校空手道部の近畿地区A（盛下達矢、岡本朱良、若林寛斗）を降して3位を手にした。

女子

国士舘大学空手道部所属で全員群馬県出身の関東地区A（本島里桜、金古美優、吉本弥可）が、埼玉栄高校空手道部の高体連A（戸張花音、宇都宮令菜、佐藤歌南）を破って3位に入った。



男子4位 近畿地区A

盛下選手「高校最後の大舞台でやりきれたけれど、結果は悔しい」
若林選手「盛下先輩の最後の試合で悔しい。先輩に学んだことを生かしていきたい」
岡本選手「来年、自分たちの代では優勝を獲（と）りにいく」
松村颯天選手「結果は残念だけどベストを尽くした。来年は残る3人で優勝を目指す」



男子3位 九州地区A

高良選手「劉衛流の先生方や先輩、仲間のお陰で勝つことができた。とてもうれしい」
池田選手「今回の結果に満足せずに、次に向かって進んでいきたい」
島田選手「いい演武ができた。3位は通過点、さらに上を目指していく」



女子4位 高体連A

宇都宮選手「初めての大きな舞台で思い切り楽しんでできた。良い経験になった」
戸張選手「大勢の観客が見ている前で緊張した。高校最後の試合で良い経験ができた」
佐藤選手「今まで練習してきたことがしっかり発揮できた。楽しくできた、悔いはない」
新城花音選手「舞台下から見た3人は格好良かった。来年は決勝の舞台に立ちたい」



女子3位 関東地区A

金古選手「不安の中でやりきるしかないと思った。支えてくれた方に恩返しができた」
本島選手「教育実習で練習できない中でも、みんなを信じてやったことが結果になった」
吉本選手「予選から日々を大切に練習してきた。来年は決勝の舞台に立てよう頑張る」
中島風花選手「今日はサポートだけど気持ちいい舞台に立った。みんなやりきっていた」



会場には多くの観客が詰めかけた



採点結果は大スクリーンに表示された



劇場に設置された特設試合場

【大会結果】

男子

順位	地区	選手名	得点
優勝	関東地区A	ゴジュウシホショウ	26.12 (TEC 18.20 ATH 7.92)
2位	関東地区B	アーナン	24.94 (TEC 17.50 ATH 7.44)
3位	九州地区A	アーナン	26.06 (TEC 18.20 ATH 7.86)
4位	近畿地区A	アーナン	24.92 (TEC 17.36 ATH 7.56)

決勝・3位決定戦《形名・得点》

女子

順位	地区	選手名	得点
優勝	近畿地区A	アーナン	26.00 (TEC 18.20 ATH 7.80)
2位	近畿地区B	アーナン	25.62 (TEC 18.06 ATH 7.56)
3位	関東地区A	パープーレン	25.14 (TEC 17.64 ATH 7.50)
4位	高体連A	アーナン	24.20 (TEC 16.94 ATH 7.26)



第56回全国道場少年剣道大会

●小学生の部

白川台少年剣修会

(兵庫)

悲願の初優勝



決勝大將戦＝白川台・高橋（左）がメンを決める

第56回全国道場少年剣道大会（主催Ⅱ全日本剣道道場連盟）が7月28・29日、日本武道館で3年ぶりに開催された。大会には全国の予選を勝ち上がった小学生620チーム（うち14チーム欠場）、中学生511チーム（うち12チーム欠場）が出場。初日の小学生の部では、39年ぶりに決勝に進んだ白川台少年剣修会（兵庫）が悲願の初優勝を果たした。2日目の中学生の部では、光龍館（香川）が正剣館（鹿児島）を破り、初の栄冠に輝いた。

前回大会は2020年に東京オリンピック・パラリンピックが日本武道館で行われるため大阪で開催する予定だったが新型コロナウイルスの感染拡大で中止となり、昨年もコロナ禍で7月の開催を断念し、今年1月に延期された。今大会も感染拡大の真っ只中だったが、全日本剣道連盟の感染拡大予防ガイドラインに沿って対策を徹底、場内の密を避けるため、従来より2人少ない3人制の団体戦とした。

試合時間は小学生が2分、中学生が2分30秒の3本勝負を行った。勝者数・総本数が同じ場合は、任意選出による代表者戦（1本勝負。2分ずつ時間を区切り勝敗が決するまで行う）で勝敗を決した。

■小学生の部

準決勝には、前回大会優勝の福岡如水館A（福岡）を破った白川台少年剣修会（兵庫）をはじめ、第52回大会で優勝経験のある洗心道場A（愛知）、KIZUNA塾（熊本）、双海剣道会（愛媛）の4チームが進出した。

■準決勝①

白川台少年剣修会 1－0 KIZUNA塾

先鋒	地主朝陽メーメ	笹原魁人
中堅	松尾茶胡	×
大將	高橋慶伍	×
		小宮尚通

白川台少年剣修会とKIZUNA塾の対戦。先鋒戦は笹原（KIZUNA）がメンを先取するが、地主（白川台）は落ち着いてメンを2本取り

返し、逆転勝ちを収める。続く中堅戦、大將戦は引き分けとなり、白川台少年剣修会が決勝に駒を進めた。

■準決勝②

双海剣道会 0-0 洗心道場 A
先鋒 和気俠士 × 大洞雄志
中堅 関木 柚 × 江口大晴
大將 奥見連司 × 森本一颯
〈代表者選〉

奥見連司 M- 森本一颯

双海剣道会と洗心道場 A の対戦。先鋒戦から大將戦まですべて引き分けとなり、勝負は代表者戦に持ち越された。代表者戦は両チームとも大將の奥見（双海）と森本（洗心）を選出。互いになかなか有効打を繰り出すことができず、延長戦を重ねる。4 回目の延長戦で互いにメンを打ち合うと、一瞬早く奥見のメンが決まって勝利。双海剣道会が決勝に進出した。

■決勝

白川台少年剣修会 1-1 双海剣道会
先鋒 地主朝陽 × 和気俠士
中堅 松尾茶胡 ー 関木 柚

大將 高橋慶伍 M- 奥見連司
〈代表者戦〉

高橋慶伍 C- 奥見連司

先鋒戦は地主（白川台）和気（双海）ともに譲らず引き分け。中堅戦は関木（双海）が出コテを決めて一本勝ちを収め、双海剣道会が優勝に王手をかける。大將戦は高橋（白川台）が序盤から積極的に攻め、間合いが詰まったところでメンを決めて一本勝ちを収める。代表者戦は大將戦と同じく高橋と奥見（双海）が対戦。高橋は奥見の手元が浮いた瞬間にコテを決めて勝利。白川台少年剣修会が初の日本一に輝いた。



優勝＝白川台少年剣修会（兵庫）

◎白川台少年剣修会・一岡正紀監督
「今から52年前に白川台少年剣修会を立ち上げ、決勝に進出したのは2回目です。決勝の代表者戦では、『最後は心の勝負。負けてもいいから今までやってきたことを思い切りやってきなさい』と大將の高橋を送り出しました。コロナ禍で稽古会場の確保にも苦労し、親御さんたちに何とか確保していただきましたが、思うような稽古はできず、基本中心の稽古をしてきました。そんな中でも子どもたちは一生懸命付いてきてくれました。その稽古の成果がこの結果につながったのだと思います」



準優勝＝双海剣道会（愛媛）

◎白川台少年剣修会・高橋慶伍選手
「優勝できてとても嬉しいです。大將戦では、狙い通りメンを決められました。代表者戦も自分の試合ができた。（最後は）自然と身体が動きまわった。練習の成果が出てとてもよかったです」



第3位＝洗心道場 A（愛知）



第3位＝K I Z U N A 塾（熊本）



決勝・大将戦＝光龍館・田中（右）がドウを決める

●中学生の部 光龍館(香川)が嬉しい初優勝

■中学生の部

準決勝には、2連覇を狙う東松館道場A（東京）、光龍館（香川）、正剣館（鹿児島）、大野東剣道スポーツ少年団（福岡）の4チームが進出した。

■準決勝①

光龍館	1-1	東松館A
先鋒 松下晴之進	—コ	池嶋 優
中堅 野中流空	メ—	松村惇己
大将 田中志武	×	島村昇冨
〈代表者戦〉		
田中志武	コ—	島村昇冨

初優勝を目指す光龍館と過去7回の優勝を誇る東松館道場Aが対戦。

先鋒戦は池嶋（東松館）がコテを奪って勝利するも、中堅戦は野中（光龍館）がメンを奪い、勝負を振り出しに返す。大将戦は引き分けとなり、勝負は代表者戦へ持ち越された。代表者戦は両チームともに大将戦と同じく田中（光龍館）と島村（東松館）により争われたが、3回目の延長戦で田中が引きコテを決め、光龍館が初の決勝進出を果たした。

■準決勝②

正剣館	0-0	大野東
先鋒 濱田煌成	×	林田凌空
中堅 新宅雄仁	×	北原直樹
大将 西 寿弘	×	緒方慎之介
〈代表者戦〉		
西 寿弘	メ—	緒方慎之介

正剣館と大野東剣道スポーツ少年団が対戦。先鋒戦から大将戦まで両チームとも譲らず、すべて引き分けとなり、代表者戦となった。代表者戦は西（正剣館）が緒方（大野東）からメンを決め、正剣館が初の決勝へ進出した。

■決勝

光龍館	2-0	正剣館
先鋒 松下晴之進	メ—	濱田煌成
中堅 野中流空	メ—	新宅雄仁
大将 田中志武	ド—メ	西 寿弘

先鋒戦は松下（光龍館）と濱田（正剣館）の対戦。試合序盤は互いに攻め手を欠くも、終盤に松下が思い切ったメンに跳ぶとこれが決まり、光龍館が先勝する。何とか追いついた正剣館だが、中堅戦も野中（光龍



決勝・先鋒戦＝松下（左）がメンを決める

館）がメンを奪って一本勝ちを収め、光龍館が連勝で勝負を決めた。大將戦は田中（光龍館）、西（正剣館）ともに一本ずつ取り合って引き分け。最終スコア2勝0敗で光龍館が嬉しい初優勝を遂げた。

◎光龍館・岩部広志監督

「去年は3位で悔しい思いをしたので、優勝できてホッとしています。コロナ禍で十分な稽古ができたわけではないのですが、その中でも子どもたちが頑張った成果が出ました。」



優勝＝光龍館（香川）

◎光龍館・田中志武選手

「集中して戦うことができました。準々決勝、準決勝と代表者戦でしたが、前の2人がつなげてくれたので『絶対に勝つ』という強い気持ちを持って戦いました。チームワークを大事にしてきたので、このメンバーで優勝できてすごく嬉しいです」



第3位＝東松館道場A（東京）



準優勝＝正剣館（鹿児島）

【大会結果】

◆小学生の部

優勝＝白川台少年剣修会（兵庫）

準優勝＝双海剣道会（愛媛）

第3位＝KIZUNA塾（熊本）

洗心道場A（愛知）

◆中学生の部

優勝＝光龍館（香川）

準優勝＝正剣館（鹿児島）

第3位＝東松館道場A（東京）

大野東剣道スポーツ少年団（福岡）



第3位＝大野東剣道スポーツ少年団（福岡）



1周年記念セレモニー～ TOKYO FORWARD ～ 五輪関係者が再び集結！



東京五輪の開会式から1年となる7月23日、「東京2020オリンピック・パラリンピック1周年記念セレモニー～TOKYO FORWARD～」が、開会式会場となった国立競技場（東京・代々木）で関係者約200名と約1万5千名の観客が集まり、開催された。

◆
セレモニーは午後5時から始まった。冒頭、大会の招致とコロナ禍での開催に尽力し、7月8日に銃撃されて死亡した安倍晋三元首相に黙祷が捧げられた。続いて挨拶に立った小池百合子東京都知事は「共生社会の実現、持続可能な社会への道筋、最先端テクノロジーでのスポーツの楽しみ方など、大会は多くのレガシーを残しています。スポーツを通じて新しい未来を創ってまいりましょう」と述べた。

次に、五輪・パラリンピックに携わった関係者・選手たちによるパレードが行われ、大勢の観客に笑顔で手を振った。大会組織委員会の会長を務めた橋本聖子氏とスポーツ庁の室伏広治長官が挨拶した後、メダリストと観客が一体となってゲームや

東京 2020 オリンピック・パラリンピック 五輪の聖地・国立競技場に



橋本聖子元東京 2020
組織委員会会長



室伏広治
スポーツ庁長官



小池百合子
東京都知事

リレーを楽しむアトラクション、ライブ演奏などが行われた。新型コロナウイルス感染症対策のため、歓声は出せないものの、観客席からは大きな拍手が湧き、会場は大いに盛り上がった。

また、競技場の屋内施設などではこの日、デジタル技術などを活用した競技体験や五輪に関するアーカイブ展示が行われ、セレモニーとは別に約1万5千人が来場し、「東京2020」を振り返った。



⑪



③



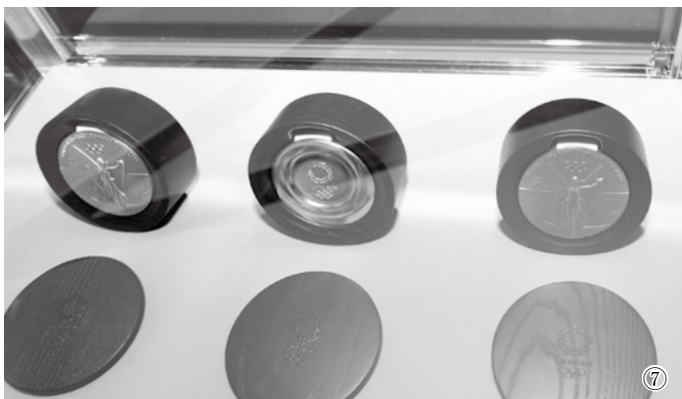
②



⑤



④



⑦



⑥

東京2020大会の感動と熱気をもう一度



- ① オープニングパレード。パレードには小池知事などの主催者のほか、五輪・パラリンピックの選手・役員、スポーツ少年団、大学生、聖火ランナー、大会ボランティアなどが参加した
- ② BMX（競技自転車）の体験コーナー。体験者はアスリートの助けを借りて、競技で使用されるパンプトラック（写真左にある坂）を走行する
- ③ パラローイング（障がい者ボート）のブースでは足をフットレストに固定し、上半身だけでボードを漕ぐ動きを体験
- ④ VRゴーグルで車いすリレーを体感できるブース
- ⑤ 競技体験以外にも被災地復興支援やボランティアレガシーなどのブースが出店された
- ⑥ 五輪開会式の国歌斉唱で歌手のMISIAさんが着用した衣装
- ⑦ 五輪で上位入賞者に贈られたメダル（レプリカ）
- ⑧ 開会式で使われたアメリカ合衆国のプラカードと先導者のユニフォーム
- ⑨ 競技用備品の展示コーナーでは競技用ボールやボクシングのグローブなどに触ることができた
- ⑩ 聖火リレーで使用されたトーチ



コロナ下の令和4年度全日本少年少女武道錬成大会

知恵を絞って各種目を開催

◎柔道と剣道では講話と基本錬成

令和4年度の全日本少年少女武道錬成大会は約6千人の子どもたちが参加し、「武道を通じて青少年の健全な育成を図る」という所期の目的を達成して終了した。今大会はコロナ下で初の開催とあって、感染対策として、柔道と剣道では講話を行うなど、工夫を凝らした大会となった。

■入れ替え制の導入

午前の部に遠方の団体、午後の部に関東と山梨の団体に参加した。

■各道共通でコロナ対策

大会は独自の新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに則して実施し、試合や基本錬成中は各団体が定めるガイドラインに従った。

十分な対人距離を確保するため、一部の種目では完全入れ替え制を導入した。合気道は3班に分けて実施し、錬成内容（稽古錬成、演武錬成、模範演武）は同じとした。2日間で行われた剣道は両日とも2部制で開催。基本稽古は、参加団体を2班に分け（2日目の午後の部を除く）、所属団体内でペアを組んだ。空手道も2部制で実施し、1部は小学1・2年生と3・4年生の部、2部は5・6年生と中学生の部に分けて基本錬成と試合錬成を行った。柔道は午前と午後の部に分け、他団体とペアになることは避けた。少林寺拳法では



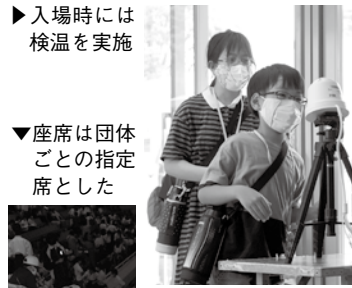
多くの種目で入れ替え制を導入



入館証を手に入り口へ向かう参加者

▶入場時には検温を実施

▼座席は団体ごとの指定席とした



柔道・剣道では質問・応答が行われた

【剣道】

●「君に伝えたい三つのこと」

松崎賢士郎講師
(第68回全日本選手権者)

皆さんは剣道が好きですか？
最初は本気になれなくてもいいと思います
が、大事なことは続けることです。嫌になることもあります。それを負けない気持ちを持つことです。これが伝えたいことのひとつ目です。
一流の選手がすごいのは、技術はもちろんですが、絶対に負けたくないという気持ちが人一倍強いところ。です。どんなことでも、負けたくないという気持ちを大事にしてほしい



に発熱者専用の救護室を中道場棟の1階に設けた。

多くの種目では座席は団体ごとの指定席とし、食事は禁止か可能な場合は客席のみとした。

■柔道と剣道で講話を実施

柔道と剣道では、試合錬成の代わりに行われた講話を紹介する。

【柔道】

●「オリンピックと同じ場所に立つ君へ」

池田ひとみ講師

（全柔連強化委員会女子コーチ）



ちょうど1年前、ここ日本武道館で東京オリンピックピックの柔道競技が開催されました。みんなが立っているその場で阿部一二三・詩きようだいや大野将平選手が戦いました。1年後の今日、君たちは同じ場所で柔道を行っています。

今日の柔道では、組み合いましよ

う、投げ合いましよというのが世界の潮流です。その中で日本人選手は技をしっかりとかけることができて、海外の選手は日本人選手というだけで一目置いてくれます。君たちも今のうちにしっかりと技を作ってください。

また、柔道は日本発祥の競技であり、現在、世界では200以上の国と地域に広がりました。海外の人になぜ柔道をやっているのと聞かれた時、しっかりと説明できる、相手を敬い正しい柔道を伝えることができる柔道家になってほしいと思います。

と思います。次に、負けたくないという気持ちを相手だけでなく自分自身に対しても持つてください。それを「克己心」といいます。自分に負けないことが強くなる一番の秘訣です。

二つ目は相手のことを考えることです。試合で自分勝手に打つても相手はなかなか打たせてくれません。試合では相手の動作を考えます。それが、いずれは相手を思いやることに繋がります。普段の学校生活でも「今、こう言ったら相手はどう思うか」と考えることで相手を思いやることに繋がります。

三つ目は基礎・基本です。小学生のうちに基礎・基本をしっかりとやってください。今実感するのは、基本をしっかりとやっている選手はどこかの時期で絶対強くなります。基本が身についていれば、どこかで花が咲きます。私も今でも基本を大切にしています。稽古をしています。

（質疑応答）

Q どうやったら強くなりますか？

A すぐに強くなるという魔法のようなものはありません。毎日の向上心が大切です。

Q なんでそんなに強いのですか？

A 自分が頑張っていると思っている時はまだまだです。それを当たり前にするのが大切です。そして強い選手にボコボコにされても向かっていくことです。

Q ボコボコにされるのは嫌じゃないんですか？

A 菌が立たなくとも、何とか頑張るといふ経験は大変でしたが充実し、すごく楽しかったです。それが今に繋がっていると思います。



今回の剣道錬成大会の感想を網代忠宏全日本剣道連盟会長に聞いた。

▼網代忠宏・全日本剣道連盟会長

「錬成大会はもともと、各ブロックでの試合に留めて、多くの勝者を出す伝統ある大会です。3密を防ぐため、今回、稽古を中心に行ったのはこれからの少年剣道指導にとつて良い兆しに繋がるのではないかと思います。コロナ禍の下で、子どもたちが一生懸命頑張っている姿目の当たりにして感動しました。これからも剣道を通じて立派に育ってくれることを願っています」

令和4年度 全日本少女武道錬成大会出場団体・受賞一覧

令和4年7月17日から8月7日までの9日間にわたって
日本武道館で開催された令和4年度全日本少女武道錬
成大会の出場団体・受賞一覧を掲載します。

気会、一蓮合気道会、多摩川合気道会、板橋区合気会、合
気道三心会、高円寺合気道クラブ

【神奈川県】合気道唯心館杉野道場、合気道幸徳会、合気
道青葉塾道場、春陽会、合気道野比道場、南林間カルチャ
ーセンター、鶴岡八幡宮研修道場合気道、藤沢合気道倶楽
部、合気道相模和道会、合気道高城道場合気道わんぱく道
場、綾瀬市・海老名市合気会、秦野武産合気会、合気道相
模誠心会田名道場、青葉台カルチャープラザ合気道教室、
葉山町合気会

【静岡県】啓翔会

【愛知県】小牧合気会

【大阪府】合気道正勝会、合気道大阪東武育会

【奈良県】奈良合気会、合気道西大和会、合気道三鍊会

【柏合気会少年部】對馬結花

【合気道三心会】在間志帆・辰野斗紀・井山穹太・辰野八
重

【合気道幸徳会】齋藤正樹・須藤多実佳・須藤敬良・齋藤
清志

【合気道浦和尾又道場】伊藤三殊・稲毛ひなた・牧口博翔・
興津鍊

【東松山合気道クラブ晴和会】吉野綺紗

【合気道桶川愛氣会】町田陽星

〈C班〉

【合気道本部道場少年部】高江慶人・身崎裕都

【祖師谷合気会】近藤真央・岸本明瑛・北見章悟・渡邉小依・
山口杏

【春風合気道会】鶴間景太・新中悠介・三樹鼓太郎・北崎
さわ

【板橋区合気会】今泉彩佳・小林柊・阪口千夏・飯島志保

【調布合気道会】野澤環・飯岡瑛

【月窓寺道場】ハント彪吾・鈴木咲也子・松元咲樹・太田十斗・
石田あおば・永島迪・松元美樹

【千住合気会】張なつき・Xandyr Macdonald・平井千陽

【文京区合気会】小林美桜

【合気道木下道場】堀越紗霧・小林周・小早志実花・中島桜・
森嶋太郎

【鷹の台合気道同友会】宮本希子・宮本芽衣

【一蓮合気道会】田口花・小澤エリナ

【合気道石田塾】齊藤衣胡・高野将悟

【東村山市合気道会】久我林瑚・林大耀・松村鈴唯

【合気道向日葵道場】中村奏介・荒谷しほり・香焼大翔・
諏訪桃子・梅林果穂・山本湊一郎

【合気道土井道場】植田朔弥・奥村優太

【葛飾合気会】森田茉莉・飯塚七海・北嶋真妃

【多摩川合気道会】武田啓汰・長崎蒼・佐藤遼一

【城東誠和会】佐藤芯一・佐藤崎美

【新小岩合気会】和田帆夏・川副公耶・津根水月

【日本武道館武道学園】山口聖丸・佐々木唯穂

【青葉台カルチャープラザ合気道教室】半田律都子

【西馬込合気道会】村瀬日奈音

【大森三中合気道会】山下晴次・菅野晴大

【大田区合気道会】尾崎昂・足立果那美

【杉並合気会】佐原悠介・山口裕太・小宮温・岩下晃己・
鈴木捺希・細川夕陽・溝口ひより・岩下和生・三木悠立

【合気道「倫」】原島克寛・井上可蓮

【東大和市合気道会】小林潤季

【合気道れいめい会】山田怜奈・渡辺樟馬・寺田正央吏・
山田怜旺・野口大輝・二つ川智悠・中村弘京



合気道

<出場団体>

【北海道】道央合気道会 【青森県】青森道場 【岩手県】合気道奥州道場 【福島県】合気道須賀川道場 【茨城県】つくば牛久合気道友会、江戸崎合気会、取手市合気道スポーツ少年団、ひたちなか市合気道少年団、岩間合気道スポーツ少年団、東海合気道少年団 【埼玉県】合気道浦和尾又道場、大成合気道会、蕨合気道会、無為会、ピタース合気道クラブ、合気道大宮道場、草加合気道研究会、狭山市合気道教室、合気道修練道場自然館、志木合気会、合気道神明塾、合気道明心会、入間幸武館道場、新所沢合気道同好会、合気道桶川愛氣会、東松山合気道クラブ晴和会 【千葉県】千葉市立椿森中学校合気道部、合気道弘龍會明	心館道場、我孫子市合気道スポーツ少年団、船橋合気会、朋清会白井道場、流山合気会、合気道浦安道場、銚子合気道会、合気道松心館、柏合気会少年部、合気道明心館スポーツ少年団 【東京都】合気道宇宙の会、武蔵中学校合気道部、文京区合気会、荒川合気会、合気道石田塾、葛飾合気会、合気道土井道場、城東誠和会、新小岩合気会、合気道木下道場、合気道向日葵道場、大森三中合気道会、西馬込合気道会、大田区合気道会、守清館、合気道れいめい会、祖師谷合気会、朋清会、田園調布雙葉学園合気道部、合気道自由が丘道場、中野区合気道会、月窓寺道場、合気道新川塾、春風合気道会、仲池合気道同好会、調布合気道会、東村山市合気道会、合気道「倫」、東大和市合気道会、鷹の台合気道同友会、日本武道館武道学園、千住合気会、杉並合気会、おあし合
--	--

<努力賞>

〈A 班〉 【合気道奥州道場】金田葉月・熊谷由麻 【ひたちなか市合気道少年団】坂本楓馬・雲井創也・安井美綺・斉藤桃子・鶴田愛心 【東海合気道少年団】寺門和輝・原田凌・森川寛太・田中悠貴・垣内結衣 【仲池合気道同好会】近棟和樹・古村陽仁 【合気道新川塾】深澤日向・長澤梢ラウラ・石西篤人・松永里衣世・兼松輝羽・石神隼人・清水琥太郎・竹下裕果・藤原知弘・須藤蒼太 【道央合気道会】中村鈴音・佐藤柚奈・村山優空・佐藤颯・福士結実 【合気道大阪東武育会】馬場彰・馬場琉之介・三島歩真・花房芽依・熊取谷斗羽・熊取谷心羽・堀はなみ・三島歩華 【合気道石芯塾】望月陸央・後藤巧 【岩間合気道スポーツ少年団】山下志喜・藤枝真央・高見純平・長谷川奏人・中田咲良・高見果歩・長谷川カンナ 【ピタース合気道クラブ】林玖穂・越統護・菊地昶司 【合気道大宮道場】足立奈々美 【入間幸武館道場】和田蒼・平沢蓮 【青森道場】中村煌生・城戸宏心・齊藤花歩・福浦夕璃・鈴木結里菜・和田憲成 【小牧合気会】小川天音 【奈良合気会】宮崎碧葉・増山奏良・内野颯太・飛松隆寛・内原瞭太 【合気道修練道場自然館】黒澤翔羽・川島侃 【草加合気道研究会】小山竣輔・高橋柚月・切敷陽臣・木村拓翔・高橋慶悟・小山智陽・高橋柚乃・高田昇・阿部陸斗・高橋勇翔 【流山合気道同好会】高橋新・宮本康平 【つくば牛久合気道友会】奥村幸弘 【合気道三錬会】梶村宗太郎・荒川拓海 【合気道須賀川道場】小林椿・高久珠実 【笠間市体協合気道部笠間教室】肥高一護・袖山千咲 【船橋合気会】河村愛子 【日高市合気道同好会】中村夏粹 【江戸崎合気会】山岡由空・小松崎暖大・吉川朔・石津月美・畑村望々華・山岡夢歩 【啓翔会】望月美花・鯨井湊介・市川蒼大・望月天翔 【取手市合気道スポーツ少年団】大平夢華・ハント丈二 【足利市民合気道クラブ】寺岡聖城 【無為会】新冬馬・新井柚絆・大塩律夏・荒井涼葉・西原花歩・新井巧実 【流山合気会】近藤隆晴・板谷飛佑・眞崎一将・前田凜乃・比嘉風咲・蘭部栞恋・林田柊斗・比嘉恵莉咲・大田絃生・忍足日鞠・比嘉瑛斗	【狭山市合気道教室】渋谷佳佑 〈B 班〉 【千葉市立椿森中学校合気道部】鶴岡葵・中山竜汰・山本詩華・長谷川詩・秋元秀太・新井奈央人・今津悠太・田村歩夢・井富滉太・岩渕光来・栗原渚・岩渕夢生 【合気道弘龍會明心館道場】菅谷実知花・伊藤爽太・吉田要・小林幸平・石川朝陽 【合気道明心館スポーツ少年団】松前歩希 【我孫子市合気道スポーツ少年団】池田樹世 【朋清会白井道場】白戸創一郎・薄田奏佑・小林優翔・スミスジュリア茉莉・秋山煌貴・林美羽・高松音寧・浜崎達也 【朋清会】関口凜太郎・三好紗英・佐藤馨太・瀬古結子 【鶴岡八幡宮研修道場合気道】猪飼莖・山梨蒼一郎・岩井咲樹・永瀬紗羅・中村芽 【荒川合気会】清岡賢賢・阿部え羽・古賀風祥・梶原ひな・逸見皇王・星野慧斗・嘉納悠人・大野龍之介 【銚子合気道会】椎名真捺巳 【志木合気会】大村憲伸 【合気道春水道場】山崎琥晴・田畝祥太郎 【合気道相模誠心会田名道場】渡邊可憐 【桜台合気道クラブ】鈴木健太 【春陽会】篠原寛庄 【新所沢合気道同好会】室塚瑛嵐 【合気道松心館】辻小粋・浅田滢・鈴木結愛・鈴木琉輝 【合気道神明塾】吉田彩芽・奥村玲・佐々木裕妃 【合気道明心会】平原瑠音斗 【合気道唯心館杉野道場】西村いちか・松本杏奈 【藤沢合気道倶楽部】山本恵多 【秦野武産合気会】和田颯馬・長塩幸希・石渡柚紀子・吉川昌宏 【合気道野比道場】島野風生・島野龍生 【流山町合気会】三舟舞妃菜・関沢星音・田中善瑛・田中聖人 【北総合気会山武道場】鈴木歌純・岡田祐樹 【合気道相模和道会】川瀬綾世・林彩花 【合気道青葉塾道場】七里碧・宮原啓仁 【綾瀬市・海老名市合気会】浅沼八雲 【南林間カルチャーセンター】田崎美晶 【合気道正勝会】小松難佳・平野遥香・小西柚音・奥山克斗・浜田悠希・山野紗良・更屋幸村・川崎貴翔・小西茉莉彩・小松龍生 【合気道西大和会】中川実羽・菊本盟子・梶家明香里・田仲こはる・河合和奏・中垣遥翔・高田知里・田中瑠音・中川陽咲・中村颯太
---	--

<出場団体>

【茨城県】 清真学園中学校、坂東市立猿島中学校 【栃木県】 北犬飼中学校、大平中学校、清原中学校、岩舟中学校、芳賀中学校、大田原市立大田原中学校、矢板市立矢板中学校、宇都宮市立鬼怒中学校、宇都宮市立一条中学校、大田原市立黒羽中学校 【群馬県】 共愛学園中学校、あずま弓道協会 【埼玉県】 所沢市弓道スポーツ少年団、さいたま市立浦和中学校、星野学園中学校弓道部、埼玉栄中学校 【千葉県】 成田高校附属中学校、松戸市立第六中学校、松戸市立栗ヶ沢中学校、渋谷教育学園幕張中学校 【東京都】 佼成学園中学校、駒沢学園女子中学校、吉祥女子中学校、頌栄女子学院中学校、早稲田中学校、城北学園、慶應義塾中等部、田園調布学園中等部、東京都市大学等々力中学校弓道部、海城中学校、調布中学校弓道部、明星学園中学校弓道部、桜修館中等教育学校、立正大学付属立正中学校 【神奈川県】 慶應義塾湘南藤沢中等部、鎌倉女子大学中等部 【山梨県】 石和町弓道スポーツ少年団、御坂町弓道スポーツ少年団	ーッ少年団 【長野県】 長野日本大学中学校 【岐阜県】 加子母弓道スポーツ少年団、垂井町立不破中学校 【静岡県】 沼津市立沼津高等学校中等部 【愛知県】 幸田町立北部中学校、富士松中学校、蒲郡中学校、末野原中学校、豊川市立一宮中学校、蒲郡市立中部中学校、作手中学校、豊川市立小坂井中学校、新城市立東郷中学校、刈谷市立朝日中学校、豊田市立朝日丘中学校、刈谷市立雁が音中学校、豊田市立藤岡南中学校 【三重県】 四日市メリノール学院中学校 【京都府】 洛星中学校 【熊本県】 山鹿市立鹿北中学校、小川中学校弓道部、熊本市立鹿南中学校、山鹿市立山鹿中学校 【鹿児島県】 帖佐中学校、重富中学校、加治木中学校、鹿児島市立緑丘中学校弓道部、鹿児島市立松元中学校、串木野中学校、志布志市立有明中学校
--	---

<受賞団体>

男子の部

優秀賞	優良賞	敢闘賞	技能優秀賞
加治木中学校 A 海城中学校 A	山鹿市立山鹿中学校 A 幸田町立北部中学校	清原中学校 A 松戸市立栗ヶ沢中学校 A 豊田市立藤岡南中学校 A 大田原市立大田原中学校 B	海城中学校 A 清原中学校 A
努力賞	予選通過チーム (12 射 6 中以上) 12 チーム		

女子の部

優秀賞	優良賞	敢闘賞	技能優秀賞
末野原中学校 A 長野日本大学中学校 A	大平中学校 B 富士松中学校 A	鹿児島市立松元中学校 A 志布志市立有明中学校 A 加治木中学校 B 大田原市立黒羽中学校 A	長野日本大学中学校 A 富士松中学校 A
努力賞	予選通過チーム (12 射 6 中以上) 8 チーム		



弓道



剣道

剣道

<出場団体>

7月23日開催

<1部> 【福島県】 須賀川剣道連盟少年部、梅ヶ香剣道スポーツ少年団、梅ヶ香剣友会 【茨城県】 巧美会剣道教室、結城剣友会 【栃木県】 練兵館、大田原少年剣道教室、黒磯剣道教室スポーツ少年団 【埼玉県】 朝霞市剣道連盟、川越三光剣友会、越谷剣道クラブ、川口市南剣友会、北秋津剣友会、武蔵館、武蔵館剣道部、和光市剣道連盟、藤久保剣道会、芝スポ少年少女剣道クラブ、新狭山剣志会 【千葉県】 雄武南剣友会、流山道場、流山市剣道連盟ひれがさき支部、市川市剣道連盟菅野支部、緑が丘剣友会、雄武剣友会、光ヶ丘直心会、長狭剣友会、芝山剣道クラブ、鬼高剣友会、鎌ヶ谷剣弘会 【東京都】 二葉剣友会、練心館、富士見剣正会、田端剣友会、練東剣友会、滝小剣友会、アジア少年剣士会、志村少年剣友会、浮間武道錬成部、蔵脩館金王道場、中村剣友会 【神奈川県】 久里浜剣友会、港北少年剣道クラブ、霧が丘剣友会、足柄錬心館、都筑茅ヶ崎剣友会、いずみ剣友会、大和市渋谷剣友会、錬武館、之久会、信明館高科剣道場、茅ヶ崎剣心会、栗原剣友会、岡崎剣友会、大正剣道同好会、相模原北署剣士会、斉信館剣友会、東林間剣道部、齋藤道場剣友会 【山梨県】 忍野剣心会、都留市剣道連盟 【長野県】 長野少年剣道クラブ、岡谷市剣道協会、ちくま剣道育成会 【岐阜県】 輪扇剣道少年団、共栄剣道少年団、済命館道場剣道教室 【静岡県】 大井川剣道スポーツ少年団 【兵庫県】 剣心会、聖武会 【奈良県】 生駒剣友会	【和歌山県】 貴志川剣道クラブ、建武館 【福岡県】 森安修道館 【岡山県】 昇龍館一福道場 【香川県】 仏生山スポーツ少年団剣友会 <2部> 【山形県】 六稜剣士会、松原剣道スポーツ少年団（酒田） 【福島県】 一誠剣道クラブスポーツ少年団、会津中央少年剣士会 【茨城県】 取手中央剣道部、俊水館道場 【栃木県】 野木剣友会 【埼玉県】 草加市花栗剣友会、志多見少年剣友会、安行剣道クラブ、東大宮剣友会、豊岡修心館、春日部剣道会 【千葉県】 流山市剣道連盟江戸川台支部、千葉南武館 【東京都】 足立綾瀬剣友会、福住剣友会、小平市剣道連盟鈴木小剣道教室、三宿剣友会、三吾婦剣友会、東京錬武會、練馬剣友会、東松館道場、丸山剣友会、武蔵剣友会、国立剣道連盟、玉流剣道会、西東京市剣友会、原町田剣友会、雄邦館、開進剣友会、高井戸警察署少年剣道会、萌木剣道教室、若葉町剣道部、大泉剣児会、調布中央剣道会、小金井市剣道連盟、調布市剣道連盟、品川区剣道連盟品川平塚剣友会 【神奈川県】 川崎御幸剣友会、二宮町スポーツ協会二宮剣道部、橋本剣士会、愛川剣道教室、柿生剣友会、片倉北辰館西木道場、川崎真道館道場、大和市若竹剣友会 【山梨県】 嵐峰会、甲斐直心館 【長野県】 五加育成会剣道クラブ 【岐阜県】 北方町剣道スポーツ少年団、海津町剣道スポーツ少年団、誠心剣友会 【愛知県】 西野町剣修会 【兵庫県】 宍粟剣道連盟少年部
--	--

7月24日開催

<1部> 【福島県】 鎌田剣道スポーツ少年団、勿来剣道スポーツ少年団 【茨城県】 結城尚武館 【栃木県】 鹿沼市剣友会 【埼玉県】 四誠館、解脱錬心館、戸塚剣道クラブ、北本剣士会、鳩ヶ谷剣友会、草加中央剣友会、八潮市剣道連盟、北浦和やどかり剣生会、桜南剣友会、白岡市剣道連盟、忠誠館錦道場、新郷剣道クラブ、高階剣志会、立明館心剣道場、富士見剣友会、菖蒲剣道スポーツ少年団、わらび剣友会、四誠館道場 【千葉県】 浜町剣正会、野栄剣道スポーツ少年団、米本剣友会、みつわ台剣友会、都剣友会、鬼倉道場、うすい剣友会、市川市剣道連盟葛南道場、打瀬一心会、松原剣友会、市川市剣道連盟葵剣友会 【東京都】 忍岡剣道会、狛江少年剣道クラブ、剣心会、新小岩剣友会、小宮剣道部、桜剣友会、建武会 【神奈川県】 自強館武道場、東本郷剣道同好会、東寺尾剣友会、並木剣友会、腰越剣友会、相武台少年剣友会、十日市場剣友会、鶴岡八幡宮研修道場、睦剣士会、正栄館磯部道場、山王体育館剣道クラブ、大沼若松剣道会、つきみ野剣友会、茅ヶ崎東海岸剣友会、剣桜会、大池剣友会、睦心館、三田村道場 【富山県】 小杉南剣道教室 【長野県】 権堂少年剣友会、長野剣道スポーツ少年団、東御少年剣道クラブ	【三重県】 神風館道場 【静岡県】 誠道会北部道場 【大阪府】 三剣会 【兵庫県】 宝塚剣道円心会 【和歌山県】 宮原少年剣友会 【愛媛県】 松山剣道会 【福岡県】 春日光龍会、山口剣友会 <2部> 【福島県】 石川武道館剣道少年部 【千葉県】 小金原正剣会、鎌心館市原道場、高塚剣友会、市川市剣道連盟八幡道場、村上剣友会 【埼玉県】 高砂少年剣道会、南武剣誠会 【東京都】 京橋スポーツ少年団、更正剣道会、蒲小剣道教室、仲六少年剣友会、東大泉剣友会、清瀬市剣道連盟、矢口剣志会、向島剣友会、城北剣志会、平井剣友会、永山剣友会、練馬区剣道連盟、八武崎剣友会、けやき剣友会、みちの子道場、大四道場、赤羽北武徳剣道塾、向原剣友会、誠剣友会、柳水会 【神奈川県】 上瀬谷剣友会、瀬谷第二支部、磯子警察署少年剣道推進会、柏台剣友会、菅生剣友会、小田剣心会 【岐阜県】 羽島市剣道教室 【静岡県】 武修館、青島剣道スポーツ少年団 【大阪府】 樽井一究道場 【沖縄県】 沖縄警察署スポーツ少年団
---	--

<出場団体>

【青森県】 NPO 法人野辺地空手道会 【宮城県】 仙台教育空手、NPO 日本教育空手協会 【山形県】 崇武館新庄支部 【茨城県】 国際剛柔公道会茨城 【栃木県】 糸東会報国塾、日本空手道講進会明鏡館、清原空手道スポーツクラブ、公道会野木、全日本空手道正友会、一期倶楽部 【群馬県】 了右館、明和塾 【埼玉県】 白聖会光風空手、一般社団法人日本空手道々場会原市場松濤会、川口空手アカデミー、道場会濤友館、日本空手道一空会マリン空手クラブ、一般社団法人日本空手道道場会・彩カラテキッズ、清空会、剛柔流空手道錬心会、川本連、(一社) 日本空手道道場会勝志会、空手道紅雲会、白岡空手道 【千葉県】 本更津聖嘉館、千葉桜空塾、茂原武道館、剛柔流空手道勝山会、昇政塾、明桜塾、日本空手道濤良館、一宮、蒼凜会、澤本道場、野田拳成会、千葉拳成会、拳剛会千葉、八千代神武会 【東京都】 日本空手道拳志会、全日本松濤館空手道拳心会、晴桜塾、尚心派糸東流拳心会、昭空会、正武館空	手道場、空手道松道会、総合武道松武会、日本武道館武道学園、空手道保谷塾、順道館、日本空手道森田塾村山道場、謙交塾大和田道場、空手道拳心会石浜クラブ、禅空館南麻布、仁勇館、剛柔流空手道佐南会、日本空手道一心会、蒼鷹会空手道教室、国際松濤館空手道連盟瑞穂支部、志魂、日本空手道北辰会、同志会、目黒空手インターナショナル、令武館空手道場、昌武館空手道クラブ、誠空館、拳勝館二子玉川支部、拳心会仙川入間道場、心正会、南富士見松濤会、松武会柄澤道場 【神奈川県】 泊親会掌空館、拳勝館六会支部、日本空手道海真館、日本空手道泊親会川崎、日本空手道拳勝館横浜栄、全日本空手道志空会、英友会、継翔館、NPO 湘南、拳勝館鎌倉支部、聖心館葉山、拳勝館川崎支部、拳勝館西湘支部、養真館、真永館、奥町道場、日本空手道一颯会、日本空手道練心館村岡支部 【新潟県】 日本空手道空和会柏崎支部 【静岡県】 空志塾、剛柔会正剛道場、安倍川空手道場、剛柔会吉田道場 【愛知県】 全日本空手道連盟糸東会千政館愛知支部天空会
--	---

<受賞一覧>

小学1・2年生の部

優秀賞	努力賞
禅空館 南麻布 A (東京都) 剛柔会正剛道場 A (静岡県)	日本空手道泊親会川崎 B (神奈川県) 明桜塾 (千葉県)
優良賞	日本空手道一颯会 (神奈川県) 総合武道松武会 A (東京都)
目黒空手インターナショナル A (東京都) 一期倶楽部 A (栃木県)	目黒空手インターナショナル B (東京都)
敢闘賞	日本空手道泊親会川崎 A (神奈川県) 日本空手道一空会マリン空手クラブ (埼玉県) 総合武道松武会 B (東京都)
令武館空手道場 (東京都) 川口空手アカデミー (埼玉県) 晴桜塾 B (東京都) 尚心派糸東流拳心会 (東京都)	

小学3・4年生の部

優秀賞	努力賞
目黒空手インターナショナル A (東京都) 昭空会 B (東京都)	全日本空手道 志空会 (神奈川県) 拳勝館二子玉川支部 A (東京都)
優良賞	尚心派糸東流拳心会 A (東京都) 清原空手道スポーツクラブ (栃木県) 晴桜塾 (東京都)
南富士見松濤会 (東京都) 尚心派糸東流拳心会 B (東京都)	川口空手アカデミー (埼玉県) 拳勝館西湘支部 (神奈川県) 昇政塾 (千葉県)
敢闘賞	安倍川空手道場 (静岡県) 日本空手道泊親会川崎 (神奈川県) 茂原武道館 (千葉県) 全日本空手道連盟糸東会千政館愛知支部天空会 (愛知県)

小学5・6年生の部

優秀賞	努力賞
蒼鷹会空手道教室 (東京都) 正武館空手道場 (東京都)	清原空手道スポーツクラブ (栃木県) 拳勝館鎌倉支部 A (神奈川県)
優良賞	安倍川空手道場 (静岡県) 明和塾 (群馬県) 英友会 (神奈川県)
剛柔会正剛道場 (静岡県) 一宮 (千葉県)	(一社) 日本空手道道場会勝志会 (埼玉県) 拳勝館六会支部 B (神奈川県)
敢闘賞	川口空手アカデミー B (埼玉県)
拳剛会千葉 A (千葉県) 明桜塾 (千葉県) 晴桜塾 (東京都) 日本空手道泊親会川崎 (神奈川県)	

中学校の部

優秀賞	努力賞
正武館空手道場 A (東京都) 明桜塾 (千葉県)	剛柔流空手道錬心会 (埼玉県) 明桜塾 (千葉県)
優良賞	茂原武道館 B (千葉県) 全日本空手道正友会 B (栃木県)
蒼凜会 (千葉県) 一宮 (千葉県)	剛柔流空手道錬心会 (埼玉県) 清原空手道スポーツクラブ (栃木県)
敢闘賞	日本空手道空和会柏崎支部 A (新潟県) 日本空手道海真館 (神奈川県) 川本連 (埼玉県) 一般社団法人日本空手道道場会・彩カラテキッズ (埼玉県)

柔 道 7月31日開催

<出場団体>

〈午前の部〉 【福島県】 須賀川市石背柔道スポーツ少年団 【茨城県】 総和柔道クラブ、力善柔道クラブ、舞鶴柔道クラブ、阿見町柔道スポーツ少年団 【栃木県】 野木町柔道クラブ、小山市少年柔道会 【埼玉県】 会田道場、光武館笹田道場、五十嵐道場、柔志館越谷クラブ、大宮立志塾、葵柔道クラブ 【千葉県】 流山市柔道会、野田柔道会少年部、小出道場 【東京都】 富道館天野道場、真成会、松前柔道塾、日本武道館武道学園、国土館少年柔道教室、研武館、第七機動隊少年柔道部、調布市柔道連盟、勇武館高宮道場、杏文柔道クラブ氷川台教室、有明柔道クラブ 【神奈川県】 上溝柔道教室、悠友館、小向クラブ 【静岡県】 浜北柔道スポーツ少年団、袋井スポーツ協会柔道部 【愛知県】 羽田野道場	【三重県】 石樽道場 【滋賀県】 石山塾 【大阪府】 明武館田邊道場 【兵庫県】 土曜柔道会 【広島県】 川口道場 〈午後の部〉 【茨城県】 明野晴明館柔道会 【埼玉県】 草加市柔道会、栄武館新井道場、川口市柔道連盟クラブ 【千葉県】 松戸市柔道修練会 【東京都】 東村山柔道クラブ、警視庁町田警察署少年柔道部、多摩中央警察署少年柔道部 【神奈川県】 柿生青少年柔道会 【石川県】 犀川柔道教室
---	---

銃剣道 8月3日開催

<出場団体>

【北海道】 名寄ピヤシリ銃剣道スポーツ少年団、旭川銃剣道短剣道同好会、千歳少年銃剣道クラブ、美幌銃剣道少年団 【岩手県】 紫波銃剣道クラブ 【宮城県】 セー浜銃剣道スポーツ少年団 【秋田県】 秋田県銃剣道連盟 【福島県】 福島市銃・短剣道スポーツ少年団 【茨城県】 水戸クラブ 【栃木県】 宇都宮銃剣道クラブ 【埼玉県】 埼玉銃剣道クラブ 【千葉県】 小林道場、松戸錬成館、船橋武道倶楽部 【東京都】 東部支部 【神奈川県】 横須賀桜道場、本間道場	【山梨県】 博真館 【新潟県】 元気道場 【福井県】 福井県立武道館 【長野県】 飯島銃剣道クラブ 【岐阜県】 瑞穂総合クラブ 【滋賀県】 九徳塾、滋賀高島銃剣道スポーツ少年団 【兵庫県】 名倉銃剣道クラブ 【鳥取県】 鳥取県立武道館 【岡山県】 勝北銃剣道クラブ 【香川県】 香川銃剣道ジュニアクラブ 【佐賀県】 佐賀県選抜 【宮崎県】 都城少年銃剣道クラブ
---	--

<受賞一覧>

団体試合錬成

学 年	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
小学５・６年生	滋賀高島銃剣道少年団（滋賀）	福井県立武道館（福井）	鳥取県立武道館（鳥取）	紫波銃剣道クラブ（岩手）
中学生	元気道場（新潟）	北風北海道選抜（北海道）	佐賀県選抜（佐賀）	名寄ピヤシリ銃剣道少年団（北海道）

短剣道個人試合錬成

学 年	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
小学４年生以下	鹿又結衣（船橋武道倶楽部）	谷伊織（名寄ピヤシリ少年団）	橋本翼（船橋武道倶楽部）	瀬山龍ノ介（船橋武道倶楽部）
小学５・６年生	岩館感太郎（紫波銃剣道クラブ）	鍋田煌（博真館）	足澤誉華（鳥取県立武道館）	前川惺（滋賀高島銃剣道スポーツ少年団）
中学生	谷武蔵（名寄ピヤシリ少年団）	須田優輝斗（秋田県銃剣道連盟）	荻野遼太（瑞穂総合クラブ）	富田淳生（千歳少年銃剣道クラブ）

<受賞一覧>

銃剣道個人試合錬成

学 年	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
小学1・2年生	糸原心絆任（鳥取県立武道館）	室井辰成（船橋銃剣道倶楽部）	谷伊織（名寄ビヤシリ少年団）	木村光佑（元気道場）
小学3・4年生	大桃明日花（元気道場）	灘山龍ノ介（船橋銃剣道倶楽部）	長岡杜和（元気道場）	外尾悔悟（佐賀県選抜）
小学5年生	前川惺（滋賀高島少年団）	鍋田煌（博真館）	田口椿（千歳少年銃剣道クラブ）	城野優晴（滋賀高島少年団）
小学6年生	外尾海青（佐賀県選抜）	井上蒼介（滋賀高島少年団）	大桃恭都（元気道場）	橋本拓実（福井県立武道館）
小学5・6年生女子	根塚愛凜（美幌銃剣道少年団）	飯塚蘭（紫波銃剣道クラブ）	足澤誉華（鳥取県立武道館）	羽野ゆり（横須賀桜道場）
中学1年生	岩淵将也（旭川銃剣道短剣道同好会）	根塚光星（美幌銃剣道少年団）	青木悠晟（飯島銃剣道クラブ）	丸山智輝（元気道場）
中学2年生	内藤大聡（勝北銃剣道クラブ）	藤谷匠吾（瑞穂総合クラブ）	税所蒼哉（名倉銃剣道クラブ）	大桃紘都（元気道場）
中学3年生	谷武蔵（名寄ビヤシリ少年団）	滝沢柊士（元気道場）	徳丸竜晟（名倉銃剣道クラブ）	古家慶一（名倉銃剣道クラブ）
中学生女子	糸原心温（鳥取県立武道館）	藤本美尋（佐賀県選抜）	外尾愛海（佐賀県選抜）	北村心花（佐賀県選抜）

少林寺拳法

8月6日開催

<出場団体>

<午前の部> 【宮城県】青葉道院拳友会、仙台西道院拳友会 【秋田県】秋田湯沢スポーツ少年団 【山形県】山形中部道院拳友会 【福島県】福島鮫川道院拳友会、いわき中央台スポーツ少年団 【福井県】福井新田塚道院拳友会 【長野県】丸子スポーツ少年団、塩尻スポーツ少年団、信州宮田生涯教育スポーツクラブ、長野南スポーツ少年団 【静岡県】浜北東部道院拳友会、清水袖師道院拳友会、富士南道院拳友会 【愛知県】名古屋なるこ道院拳友会、名古屋前之輪道院拳友会 【岐阜県】可児御嵩スポーツ少年団 【滋賀県】近江日野スポーツ少年団 【京都府】伏見丹波橋スポーツ少年団 【大阪府】河内国分スポーツ少年団 【奈良県】王寺道院拳友会 【和歌山県】和歌山西庄スポーツ少年団 【岡山県】瀬戸町スポーツ少年団 【香川県】タドツスポーツ少年団 【愛媛県】新居浜瀬戸道院拳友会 【福岡県】春日市スポーツ少年団 【大分県】国東港スポーツ少年団 【熊本県】西原スポーツ少年団 【宮崎県】三股スポーツ少年団 <午後の部> 【茨城県】取手南道院拳友会、ひたちなか市松戸スポーツ少年団、守谷市スポーツ少年団、牛久市ひたち野スポーツ少年団、ひたちなか市湊スポーツ少年団、取手市スポーツ少年団、波崎スポーツ少年団 【群馬県】渋川道院拳友会、上州白根道院拳友会、前橋橋道院拳友会、前橋中部道院拳友会 【埼玉県】埼玉中部道院拳友会、草加道院拳友会、朝霞	道院拳友会、埼玉三ヶ島道院拳友会、埼玉和光道院拳友会、入間藤沢道院拳友会、埼玉飯能道院拳友会、蕨市スポーツ少年団、武蔵嵐山スポーツ少年団、埼玉武道館、埼玉鶴瀬道院拳友会、東松山スポーツ少年団、埼玉神川スポーツ少年団、浦和美園道院拳友会 【千葉県】我孫子道院拳友会、市原東道院拳友会、千葉清見台道院拳友会、流山北道院拳友会、習志野台スポーツ少年団、千葉市海浜スポーツ少年団、市原南スポーツ少年団、市原市津スポーツ少年団、鎌ヶ谷初富スポーツ少年団、袖ヶ浦長浦スポーツ少年団、千葉花見川スポーツ少年団、流山市スポーツ少年団、船橋西部スポーツ少年団、津田沼道院拳友会、千葉海匠道院拳友会、千葉野田道院拳友会 【東京都】東京桜台道院拳友会、板橋桜川スポーツ少年団、武蔵国分寺スポーツ少年団、日本武道館武道学園、東京大泉西道院拳友会、東京辰巳道院拳友会、東京錦糸道院拳友会、八王子富士森道院拳友会、東京蒲田道院拳友会、南中野道院拳友会、八王子東道院拳友会、東京月島道院拳友会、東京西品川道院拳友会、東京滝野川道院拳友会、東京昭島道院拳友会、日野南平スポーツ少年団、国立中スポーツ少年団、板橋加賀スポーツ少年団、新宿大久保スポーツ少年団、八王子高尾スポーツ少年団、こやのエンジョイくらぶ、富士見丘学園、加住小中学校、武蔵村山市立第三中学校、慶應義塾、東京清瀬元町道院拳友会、国立道院拳友会、東京久が原道院拳友会、東京足立東和道院拳友会、光が丘スポーツ少年団、東京石神井スポーツ少年団、八王子陵北スポーツ少年団 【神奈川県】横浜都筑道院拳友会、小田原道院拳友会、川崎西道院拳友会、伊勢原道院拳友会、相模大野道院拳友会、海老名東道院拳友会、川崎東道院拳友会、横浜緑園道院拳友会、相模林間道院拳友会、横浜金沢文庫スポーツ少年団、神奈川大和道院拳友会、川崎柿生道院拳友会、県央海老名スポーツ少年団 【山梨県】郡内富士スポーツ少年団
--	---

少林寺拳法

8月6日開催

<優秀賞> (218ページへ続く)

【午前の部】

◆組演武 中学生有段の部

河合隆太・徳田崇晃(愛知県・名古屋なるこ道院拳友会)、大村航太郎・中村悠希(京都府・伏見丹波橋スポーツ少年団)、古賀結奈・松川紗也(奈良県・王寺道院拳友会)、佐々木綾人・乾咲也(愛媛県・新居浜瀬戸道院拳友会)

◆組演武 小学生1級の部

中村祥久・中村顕久・渡部陽・山内ひかり(宮城県・青葉道院拳友会)、中沢瑠那・桑本彩未(長野県・塩尻スポーツ少年団)

◆組演武 小学生2級の部

三浦勘太郎・李夏陽(宮城県・仙台西道院拳友会)、出口真琴・木村日祐(愛知県・名古屋なるこ道院拳友会)、古賀陽平・松川祐汰(奈良県・王寺道院拳友会)

◆組演武 小学生3級の部

丸山佑奈・井上璃子(岡山県・瀬戸町スポーツ少年団)

◆組演武 小学生4級の部

山崎芽生・安藤陽香(愛知県・名古屋なるこ道院拳友会)、高橋凜乃・乾愛咲(愛媛県・新居浜瀬戸道院拳友会)

◆組演武 小学生5級の部

相澤和花・千葉結井(宮城県・青葉道院拳友会)

◆単独演武 小3～1級

浅見佳李(秋田県・秋田湯沢スポーツ少年団)、森谷亮志(山形県・山形中部道院拳友会)、杉本怜南・日置実来(福島県・いわき中央台スポーツ少年団)、阪口仁貴(福井県・福井新田塚道院拳友会)、岩崎つむぎ(長野県・信州宮田生涯教育スポーツクラブ)、森岡雅雪(岐阜県・可児御嵩スポーツ少年団)、辻本花穂・大越晴斗(和歌山県・和歌山西庄スポーツ少年団)、高橋乃愛・李美恵佳・羽島大雅(愛媛県・新居浜瀬戸道院拳友会)、福田新(熊本県・西原スポーツ少年団)、矢部和翔、中國将太郎、今田和史(大分県・国東港スポーツ少年団)、富松勇真(宮崎県・三股スポーツ少年団)

◆単独演武 小4級

菊地はな(福島県・いわき中央台スポーツ少年団)、下所明日香(静岡県・富士南道院拳友会)、新谷岳(長野県・信州宮田生涯教育スポーツクラブ)、橋本浩司(和歌山県・和歌山西庄スポーツ少年団)

◆単独演武 小6～5級

武田実生(宮城県・青葉道院拳友会)、神田凜理人(長野県・塩尻スポーツ少年団)、新谷なな美(長野県・信州宮田生涯教育スポーツクラブ)、杉山瑛亮(静岡県・富士南道院拳友会)、鎌谷匠馬(京都府・伏見丹波橋スポーツ少年団)、荒川拓実(大阪府・河内国分スポーツ少年団)、高橋神威(愛媛県・新居浜瀬戸道院拳友会)

◆単独演武 小学生見習い～7級の部

高橋葵子(宮城県・仙台西道院拳友会)、佐藤万緒、平山京香、佐藤研(宮城県・青葉道院拳友会)、菅野太志(福島県・いわき中央台スポーツ少年団)、原京志朗、所澤燈向、嶋田樹人(長野県・信州宮田生涯教育スポーツクラブ)、室賀匠佑(長野県・長野南スポーツ少年団)、杉山結珂(静岡県・富士南道院拳友会)、田川明希(愛知県・名古屋前之輪道院拳友会)、嶋崎真広(滋賀県・近江日野スポーツ少年団)

◆団体中学生の部

倉谷直希・後藤凜・井上理仁・魚住柊・能田航希・鎌谷来音(京都府・伏見丹波橋スポーツ少年団)

◆団体小学生の部

大村晴次郎・能田将吾・吉田爽真・中西広夢・井上愛梨・鎌谷桃羽・沖陽梨・後藤凜(京都府・伏見丹波橋スポーツ少年団)

【午後の部】

◆組演武 中学生有段の部

藤原亜季都・松澤弘翔(埼玉県・草加道院拳友会)、神谷夏帆・高橋汰生(千葉県・千葉市海浜スポーツ少年団)、佐藤蒼の・松浦唯(千葉県・市原東道院拳友会)、岩田隼・田口蒼来(千葉県・千葉清見台道院拳友会)、津根佑哉・時谷拓夢(千葉県・市原南スポーツ少年団)、上笹貴雄介・荒井天斗虎(東京都・東京清瀬元町道院拳友会)、海沼元寅・中村天音、宮田晃尚・小澤凜太郎、海沼孟宗・大月將三(東京都・東京西品川道院拳友会)、渡部実緒・谷津優、中村有吾・北原優(東京都・加住小中学校)、杉本梓紗・古木日菜(神奈川県・伊勢原道院拳友会)、岩本漱一郎・長谷川のぞみ(神奈川県・横浜金沢文庫スポーツ少年団)、谷川満音・矢島佳苗(神奈川県・川崎柿生道院拳友会)、鈴木星哉・高橋瑞唯(神奈川県・県史海老名スポーツ少年団)

◆組演武 中学生段外の部

吉田あかり・小林桃子(群馬県・前橋中部道院拳友会)、安岡瑞貴・鈴木優心、秋山巴絵・荒谷聖菜(埼玉県・入間藤沢道院拳友会)、木村啓太郎・吉田主祐(埼玉県・埼玉神川スポーツ少年団)、小菅耕太・最上瑠那(千葉県・流山北道院拳友会)、宮本寿幸・井上紘柱、牧野瑠依・古川直幸(東京都・東京足立東和道院拳友会)、長谷川創・天田悠弥(東京都・国立中スポーツ少年団)、山村柊斗・関優輝(東京都・加住小中学校)、齋藤匠・田部井陽樹(東京都・東京西品川道院拳友会)

◆組演武 小学生有段の部

伊藤帆七海・菅原有紗(茨城県・取手南道院拳友会)、高岡藍紀・辻啓志郎(千葉県・市原市津スポーツ少年団)、ブラウン海・飯塚朝陽、渡部宝・金子凜々(神奈川県・川崎柿生道院拳友会)

◆組演武 小学生1級の部

酒井駿・清水陽翔(埼玉県・蕨市スポーツ少年団)、高橋俊翼・大橋広太郎、原心音・青木厳大(東京都・東京西品川道院拳友会)、杉崎佑悟・古木友菜(神奈川県・伊勢原道院拳友会)

◆組演武 小学生2級の部

中山凜々子・今泉芽久(群馬県・前橋橋道院拳友会)、青木千紘・越川雅雅(埼玉県・埼玉和光道院拳友会)、吉田小純・松田瑛美花(神奈川県・神奈川大和道院拳友会)、原田航希・加藤祐苗(神奈川県・横浜都筑道院拳友会)、富塚蓮・石川京平(神奈川県・川崎東道院拳友会)、堀宇一朗・岩本かなえ(神奈川県・横浜金沢文庫スポーツ少年団)

◆組演武 小学生3級の部

又木亮佑・佐藤快俐(千葉県・鎌ヶ谷初富スポーツ少年団)、横山沙門・青木良磨(神奈川県・小田原道院拳友会)、近川理一・亀山煌世(神奈川県・神奈川大和道院拳友会)

◆組演武 小学生4級の部

秋田一琉・大淵羽雲(埼玉県・埼玉飯能道院拳友会)、児玉理九・池野銀太(東京都・南中野道院拳友会)、熱田玄玖・鈴木塔也(東京都・東京足立東和道院拳友会)、杉崎月乃・古木愛菜(神奈川県・伊勢原道院拳友会)

◆組演武 小学生5級の部

桑原昇汰・原優翔(埼玉県・埼玉武道館)、保坂侑吾・大野木御道(埼玉県・埼玉鶴瀬道院拳友会)、狩野奈沙・三沢都也(東京都・東京蒲田道院拳友会)、上澤力翔・坂田凜(東京都・東京足立東和道院拳友会)、水嶋太陽・中村志真(神奈川県・伊勢原道院拳友会)、小保田創介・今井萌(神奈川県・川崎柿生道院拳友会)

◆組演武 小学生6級の部

今泉落・高澤譲(群馬県・前橋橋道院拳友会)、松江奏佑・森田耀允(埼玉県・朝霞道院拳友会)、五十嵐凜太郎・岡崎吉彦(埼玉県・武蔵嵐山スポーツ少年団)、森創一朗・遠山哲(埼玉県・埼玉武道館)、中山直也・齋藤漣太郎(埼玉県・埼玉神川スポーツ少年団)、中村一吹・中村心羽(千葉県・千葉清見台道院拳友会)、千野桜子・養父さくら(東京都・武蔵国分寺スポーツ少年団)、今村眞直・田中西(東京都・光が丘スポーツ少年団)、瀬谷琳・瀬谷慶(神奈川県・小田原道院拳友会)

◆組演武 小学生見習い～7級の部

照井愛咲美・今井桜(埼玉県・埼玉中部道院拳友会)、狩野鈴奈・鈴木優也(東京都・東京蒲田道院拳友会)、齋藤拓海・天谷時丸(東京都・こやのエンジョイくらぶ)、中田惣介・笠原貴久(東京都・東京清瀬元町道院拳友会)、吉田小紘・高橋慧太(神奈川県・神奈川大和道院拳友会)

◆単独演武 小3～1級

中島悠葵(茨城県・守谷市スポーツ少年団)、花香東維、田沼有志(茨城県・波崎スポーツ少年団)、小池柊一(群馬県・上州白根道院拳友会)、和田悠翔、神谷修志(千葉県・千葉市海浜スポーツ少年団)、田口大耀(千葉県・千葉清見台道院拳友会)、熊谷温音(千葉県・習志野台スポーツ少年団)、土屋玖仁(千葉県・千葉花見川スポーツ少年団)、深浦実千花(千葉県・津田沼道院拳友会)、杉浦正樹、神谷賢志(千葉県・千葉市海浜スポーツ少年団)、貝田一朗(埼玉県・埼玉三ヶ島道院拳友会)、保坂圭吾(埼玉県・埼玉鶴瀬道院拳友会)、小平翔太(東京都・東京桜台道院拳友会)、日高拓真(神奈川県・海老名東道院拳友会)、湯淺妙香(神奈川県・横浜都筑道院拳友会)

◆単独演武 小4級

齋藤晨奈(千葉県・千葉清見台道院拳友会)、小菅陽菜(千葉県・流山北道院拳友会)、山本楓(千葉県・千葉海匠道院拳友会)、山口充輝(千葉県・我孫子道院拳友会)、山岸賢尚(千葉県・鎌ヶ谷初富スポーツ少年団)、楊宇川、喩張熙(千葉県・千葉市海浜スポーツ少年団)、小船蓮(千葉県・千葉野田道院拳友会)

<優秀賞> (217ページから続く)

会)、高野暖(埼玉県・草加道院拳友会)、矢野琳太郎、山田理矩、竹中諒(東京都・東京滝野川道院拳友会)、坂本依路(東京都・東京西品川道院拳友会)、山本陽介(東京都・南中道院拳友会)、日高さくら(東京都・東京月島道院拳友会)、土屋光史郎(東京都・東京桜台道院拳友会)、齋藤岳(東京都・東京石神井スポーツ少年団)、深海世義(東京都・東京久が原道院拳友会)、竹蓋寛人(東京都・光が丘スポーツ少年団)、元木紗花、古木空翔(神奈川県・相模林間道院拳友会)、太田遥、森瑞希(神奈川県・慶應義塾)、藤井壮司(神奈川県・川崎西道院拳友会)、太田煌希(神奈川県・相模大野道院拳友会)

◆単独演武 小6～5級

鈴木英依樹(茨城県・守谷市スポーツ少年団)、岡本牡丹(群馬県・渋川道院拳友会)、根津健介(群馬県・上州白根道院拳友会)、中山隼吾(群馬県・前橋橋道院拳友会)、原田灯(茨城県・取手南道院拳友会)、吉橋由翔(埼玉県・入間藤沢道院拳友会)、天田晃志郎(埼玉県・埼玉鶴瀬道院拳友会)、関謙心(埼玉県・埼玉神川スポーツ少年団)、大木耀、小沢竜生、篠田龍(千葉県・袖ヶ浦長浦スポーツ少年団)、永澤晃樟(千葉県・船橋西品スポーツ少年団)、深浦琉生(千葉県・津田沼道院拳友会)、山下優菜(東京都・東京大泉西道院拳友会)、熊谷凜(東京都・東京辰巳道院拳友会)、上ノ郷岳岳治(東京都・東京錦糸道院拳友会)、小島優衣(東京都・東京西品川道院拳友会)、吉村松(東京都・八王子高尾スポーツ少年団)、藤井主水(東京都・こやのエンジョイくらぶ)、佐々木帆里(東京都・加住小中学校)、井上蓮介(東京都・八王子陵北スポーツ少年団)、高田莉叶(神奈川県・川崎西道院拳友会)、ブラウン仁亜(神奈川県・川崎柿生道院拳友会)、野村葉(山梨県・郡内富士スポーツ少年団)

◆単独演武 小見習い～7級

田沼朝輝(茨城県・波崎スポーツ少年団)、吉富世蓮(茨城県・取手南道院拳友会)、大平耀生、山根康誠(埼玉県・埼玉中部道院拳友会)、林陽大(埼玉県・朝霞道院拳友会)、五十嵐朔

太朗(埼玉県・武蔵嵐山スポーツ少年団)、前田夏未(埼玉県・埼玉武道館)、中阿地權(埼玉県・埼玉鶴瀬道院拳友会)、和田勃宇(埼玉県・東松山スポーツ少年団)、粕淵あんり(千葉県・我孫子道院拳友会)、寺田奏太(千葉県・千葉清見台道院拳友会)、小菅耕四郎(千葉県・流山北道院拳友会)、喻張略、宮崎玲也、松里唯央、鎌形芽久(千葉県・千葉市海浜スポーツ少年団)、小沢幸輝、佐藤瑠一(千葉県・袖ヶ浦長浦スポーツ少年団)、山岸叶和(千葉県・鎌ヶ谷初富スポーツ少年団)、岡川恵士(千葉県・袖ヶ浦長浦スポーツ少年団)、小西尚仁(千葉県・流山市スポーツ少年団)、田村総一郎(千葉県・千葉海匠道院拳友会)、肥田健太郎、松山志斗(東京都・東京西品川道院拳友会)、堀田瑛介(東京都・日本武道館武道学園)、山下優心(東京都・東京大泉西道院拳友会)、日下遥馬(東京都・東京辰巳道院拳友会)、大西諒、吉添仁(東京都・東京錦糸道院拳友会)、今井柚希(東京都・八王子東道院拳友会)、佐藤駿丞(東京都・東京月島道院拳友会)、長谷川恵彩(東京都・国立中スポーツ少年団)、黒本堇、田近拓真(東京都・新宿大久保スポーツ少年団)、黒澤優月(東京都・東京石神井スポーツ少年団)、古里心ノ葉(東京都・加住小中学校)、水嶋虹太(神奈川県・伊勢原道院拳友会)、楠愛梨(神奈川県・川崎西道院拳友会)、元木大介(神奈川県・相模林間道院拳友会)、樋口亘(神奈川県・神奈川大和道院拳友会)、伊藤由人(神奈川県・川崎東道院拳友会)

◆団体中学生の部

田中大峨・野田悠貴・小澤正裕・久米川伸一・室井公陽・植松悠空(東京都・加住小中学校A)、横田葵子・吉田舞衣・土井和枝・市毛菜々美・西山はな・山村柚乃(東京都・加住小中学校B)

◆団体小学生の部

小山内拓海・小林七海・澄川貴一朗・三宅耕太郎・寺尾大輝・小山内昊(千葉県・我孫子道院拳友会)

なぎなた

8月7日開催

<出場団体> (219ページへ続く)

【青森県】弘前なぎなた教室、合浦なぎなた教室

【岩手県】やまびこなぎなたスポーツ少年団、みたけなぎなたスポーツ少年団、一戸町なぎなた協会、一戸町立奥中山中学校、一戸町立一戸中学校

【宮城県】多賀城なぎなた連盟、榴岡なぎなた教室、レオクラブ

【山形県】山形市立第七クラブ、山形市立第四クラブ

【福島県】会津なぎなたスポーツ少年団、会津なぎなた連盟

【茨城県】茨城県武道館なぎなた教室、つくばなぎなたクラブ、常陸大宮市なぎなた連盟、アトリエK

【栃木県】栃木市なぎなた連盟、宇都宮市なぎなた連盟

【群馬県】館林スポーツ少年団なぎなたクラブ、高崎市なぎなた連盟

【埼玉県】上尾市遊友クラブ、川越なぎなたジュニアクラブ、埼玉栄中学校、さいたま市連盟、狭山ヶ丘中学校

【千葉県】君津市なぎなた連盟、幕張なぎなたスポーツ少年団、源なぎなたクラブ、富津市なぎなた連盟、茂原市なぎなた連盟、我孫子市なぎなた連盟、習志野市なぎなた連盟、行田東なぎなたクラブ、瑞穂なぎなたスポーツ少年団、佐倉市なぎなた連盟、流山市なぎなた連盟

【東京都】港区玉恵会、調布市なぎなたスポーツ少年団、中野区なぎなた連盟、豊島区なぎなた連盟、大田区なぎなた連盟、八王子市なぎなたスポーツ少年団、多摩市

なぎなたスポーツ少年団、江東区なぎなた連盟、日本武道館武道学園、北区なぎなた連盟、新宿区なぎなた連盟、都立富士高等学校附属中学校、港区立港南中学校、東京都立南多摩中等教育学校

【神奈川県】厚木市なぎなた協会、川崎市なぎなた連盟、鎌倉市なぎなた連盟、神奈川大学附属中学校、横須賀なぎなた協会、平塚なぎなた協会、保土ヶ谷なぎなたクラブ

【新潟県】新潟県なぎなた連盟

【富山県】南砺市立福野中学校

【福井県】鯖江なぎなたクラブ、武陵館中嶋道場

【山梨県】甲斐市立玉幡中学校なぎなた部、富士吉田なぎなたクラブ

【長野県】坂城なぎなた部、松本市なぎなた田川スポーツ少年団、箕輪教室

【岐阜県】大垣市立星和中学校、大垣市なぎなた少年団、大垣市立西部中学校、羽島市なぎなた協会、関市なぎなた協会、瑞穂市なぎなた協会

【静岡県】富士市なぎなた連盟

【愛知県】岡崎市なぎなたスポーツ少年団、弥富市なぎなたクラブ、西尾なぎなたスポーツ少年団、愛知県武道館クラブ、弥富市なぎなた連盟、さくら弥富なぎなたクラブ

【三重県】高田中学校、鈴鹿市なぎなた同好会、四日市なぎなたクラブ、三重武道館クラブ、久居なぎなたクラブ

なぎなた 8月7日開催

<出場団体> (218ページから続く)

【滋賀県】 彦根市なぎなた連盟 【京都府】 木津川市なぎなたクラブ 【大阪府】 清教学園中学校 【兵庫県】 公益財団法人修武館、伊丹スポーツセンターなぎなた教室 【奈良県】 奈良市なぎなた連盟 【和歌山県】 近畿大学附属新宮中学校	【島根県】 島根県なぎなた連盟、斐川スポーツ少年団 【岡山県】 養徳館 【香川県】 琴平なぎなたスポーツ少年団 【佐賀県】 佐賀東ジュニアなぎなたクラブ 【鹿児島県】 鹿児島なぎなた同好会 【沖縄県】 西原なぎなたクラブ、いしだ丘なぎなたサークル
--	--

<受賞一覧>

演技競技の部

学 年	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
小学１・２年	大浦航・鈴木尊照 (幕張なぎなたスポーツ少年団)	佐藤紗彩・伊藤光咲 (弥富市なぎなた連盟)	永野碧彩・兼信乃絵 (港区玉恵会)	宮崎芽々・毛受悠乃蒼 (弥富市なぎなた連盟)
小学３・４年	永柄美琴・五十嵐真央 (福岡なぎなた教室)	窪田紗夕・中島朝栄 (佐賀東ジュニアなぎなたクラブ)	青木玲・加藤真莉奈 (港区玉恵会)	川島章嵩・佐藤陽美希 (君津市なぎなた連盟)
小学５・６年A	與那千琉真・保科桃果 (奈良市なぎなた連盟)	大谷明日香・田村美紗織 (宇都宮市なぎなた連盟)	豊田結・豊田葵 (瑞穂市なぎなた協会)	今村英恵・熊澤紗彩 (鎌倉市なぎなた連盟)
小学５・６年B	安住莉野・太田代和奏 (福岡なぎなた教室)	安部梨花・清水璃音 (奈良市なぎなた連盟)	渡辺咲月・柴田ももこ (大垣市なぎなた少年団)	萱野那ノ花・萱野佑柊 (富津市なぎなた連盟)
中学 A	三瓶友菜・長嶋凜 (会津なぎなた連盟)	稲熊千愛・守本光里 (愛知県武道館クラブ)	南谷咲恵・木村早良 (高田中学校)	渡辺彩乃・山崎彩夏 (東京都立南多摩中等教育学校)
中学 B	塚原彩・佐野橘華 (会津なぎなた連盟)	笠井栞那・白倉鞠衣 (甲斐市立玉幡中学校なぎなた部)	飯塚もね・竹田菜南 (新潟県なぎなた連盟)	山本結菜・寺西実紅 (南砺市立福野中学校)
中学 C	下元遥香・諸戸杏奈 (さくら弥富なぎなたクラブ)	立田紗依子・森田初音 (南砺市立福野中学校)	森愛実・竹村優温 (会津なぎなた連盟)	安部ひより・金城萌菜 (会津なぎなた連盟)
中学 D	菖蒲樹吏愛・大木千代 (弥富市なぎなたクラブ)	平野友泉乃・中山晶恵 (江東区なぎなた連盟)	大石京佳・北村里緒 (大垣市立星和中学校)	関口愛理・高倉可蓮 (会津なぎなた連盟)

試合競技の部

学 年	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
小学３年	本村心愛 (いしだ丘なぎなたサークル)	下元依吹 (さくら弥富なぎなたクラブ)	亀井悠佳 (鎌倉市なぎなた連盟)	木下二香 (羽島市なぎなた協会)
小学４年	竹谷綾 (伊丹スポーツセンターなぎなた教室)	曾我部莉央菜 (伊丹スポーツセンターなぎなた教室)	塘琉衣果 (佐賀東ジュニアなぎなたクラブ)	飯塚蒼空 (斐川スポーツ少年団)
小学５年	橋垣杏虹 (島根県なぎなた連盟)	北村陽菜 (島根県なぎなた連盟)	田原小桃 (港区玉恵会)	平田彩晶 (養徳館)
小学６年	大木ひかり (いしだ丘なぎなたサークル)	砂川末依 (西原なぎなたクラブ)	吉田理桜 (武陵館中嶋道場)	本村真那 (いしだ丘なぎなたサークル)
中学１年	塘彩矢佳 (佐賀東ジュニアなぎなたクラブ)	堀田希 (弥富市なぎなたクラブ)	南館ひより (一戸町立一戸中学校)	宮脇美理 (彦根市なぎなた連盟)
中学２年	駒井志穂梨 (清教学園中学校)	千田芽依 (伊丹スポーツセンターなぎなた教室)	高橋歩花 (埼玉栄中学校)	市橋真結 (清教学園中学校)
中学３年	西内葵衣 (清教学園中学校)	森田彩稀 (清教学園中学校)	尾下菜々子 (清教学園中学校)	関笙乃 (都立富士高等学校附属中学校)
小学男子３・４年	七森大成 (新潟県なぎなた連盟)	福林道博 (中野区なぎなた連盟)	樋川怜士 (富士吉田なぎなたクラブ)	藤江健成 (弥富市なぎなた連盟)
小学男子５・６年	小堺鉄馬 (新潟県なぎなた連盟)	上原桜雅 (弘前なぎなた教室)	金城源大 (西原なぎなたクラブ)	小田達仁 (鹿児島なぎなた同好会)
中学男子	齋藤侃駿 (会津なぎなたスポーツ少年団)	國府田駿 (やまびこなぎなたスポーツ少年団)	鈴木秀岳 (川崎市なぎなた連盟)	杉山天心 (高崎市なぎなた連盟)